



GC CORPORATION

ジーシーグループ CSR報告書2022

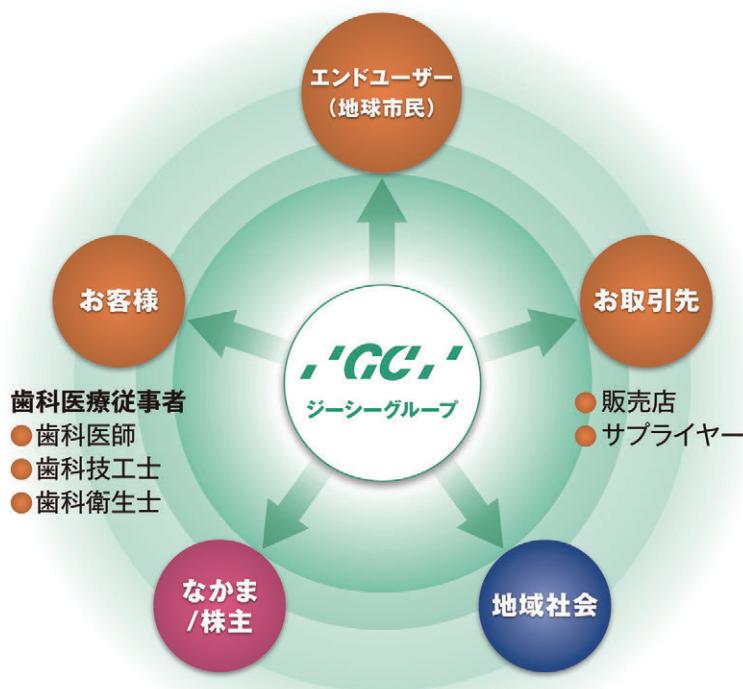
# GC GROUP CSR REPORT 2022



[ジーシーグループのステークホルダー]

## 幅広いステークホルダーとの関わりを通して、 歯科医療総合メーカーとしての社会的責任を果たします。

ジーシーグループは、歯科医療総合メーカーとして、歯科医療の従事者や大学・研究機関をはじめ幅広いステークホルダーとコミュニケーションをとっています。こうした関わりの中で、質の高い歯科医療製品を最新の情報やきめ細かなサービスとともに提供し、世界の人々の健康長寿に貢献すること。それがジーシーグループのCSRの特長です。



### ステークホルダーとのCSRコミュニケーション

#### エンドユーザー (地球市民)

- 齧とお口の健康情報サイト

#### お客様

##### 歯科医療従事者(歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士)

- 「GC 友の会」(講演会、セミナー、情報提供)
- GC Corporate Center(講演会、セミナー、行動型展示)
- モニター

#### お取引先

##### 販売店

- デンタルカレッジ(講習会)
- 特約店技術講習会
- 物流研究会
- QA パートナー活動
- グリーン調達
- サプライヤー評価制度

##### なかま(社員)/株主

- My Vision, My Mission
- 各種研修
- 社員満足度調査

#### 地域社会

- 大学、研究機関(共同研究、情報交換など)
- 工場見学会
- 地域のボランティア活動、イベントへの参加
- NGO や市民団体の活動支援
- 学校、企業でのブランディング教室

### 編集方針

ジーシーグループでは、これまで株式会社ジーシーとして毎年CSR報告書を発行していました。2011年度版からはその報告対象範囲を広げ、ジーシーグループ全体の取り組み内容を記載しています。

2022年度版では、ジーシーグループのCSRへの取り組みの姿勢をわかりやすくお伝えするため、「世界各地で進む“人財”育成」を特集として取り上げました。さらに、ジーシーグループが重要と考える5つの課題を軸に活動報告を展開し、読みやすく、わかりやすい報告書をめざしています。

### 報告対象組織

株式会社ジーシーの本社および国内外の営業拠点、工場、配送センター、下記の関連会社における活動内容を記載しています。なお、31ページ以降の「環境保全活動」のグラフについては、海外、関連会社のデータを含みません。

#### [報告対象範囲の主な関連会社]

- 株式会社ジーシーR&D.Mfg
- 株式会社ジーシーデンタルプロダクツ
- 株式会社ジーシーアサヒ
- 大成歯科工業株式会社
- 株式会社デンタルダイヤモンド社
- 株式会社日本歯科商社
- 株式会社ジーシー昭和薬品
- GC EUROPE N.V.
- GC AMERICA INC.
- GC ASIA DENTAL PTE. LTD.
- GC TAIWAN DENTAL CORP.
- GC KOREA CO., LTD.
- GC DENTAL(SUZHOU) CO., LTD

### 報告対象期間

本報告書は、2022年9月期(2021年10月1日から2022年9月30日までの事業年度)の活動内容を記載していますが、一部内容については同期前後の活動を含んでいます。

### 参考にしたガイドライン

本報告書は、主に環境省の「環境報告ガイドライン(2012年版)」と、日本規格協会発行の「日本語訳 ISO26000 社会的責任に関する手引(第一版)」を参考とし、記載しています。またGRIの「サステナビリティReporting Guidelines(G4)」の標準開示項目の情報が記載されています。



# INDEX [目次]

- 
- 01 ジーシーグループのCSR・編集方針
  - 02 目次
  - 03 トップメッセージ
  - 04 ジーシーの概要
  - 07 CSRの基本的な考え方
  - 08 CSRハイライト

特集 1 世界各地で進む“人財”育成

- 09 地球サイズの人づくり、明日づくり。
- 11 ニュースフラッシュ
- 15 ジーシーグループのCSR活動報告

活動報告 1 製品・サービスを通じた健康長寿社会への貢献

- 17 ユーザーの声を活かした製品開発
- 19 ジーシーの品質経営
- 21 ユーザーへのサポート
- 23 超高齢社会への取り組み
- 24 災害への対応

活動報告 2 ステークホルダーとのコミュニケーション

- 25 パートナーの皆様とともに
- 26 サプライヤーの皆様とともに
- 27 生活者への啓発活動

活動報告 3 環境保全活動とグリーン・デンティストリー

- 29 環境マネジメント
- 31 地球温暖化防止への取り組み
- 32 廃棄物の削減とリサイクル
- 33 製品・サービスを通じた環境への貢献
- 36 グループの環境活動

活動報告 4 国内・海外での地域貢献活動

- 39 国内における地域貢献活動
- 41 海外における地域貢献活動

活動報告 5 多様な人材活用と働きやすい職場づくり

- 44 多様な人材の活用と育成
- 47 働きやすい職場づくり

# TOP MESSAGE

ジーシーは21世紀を「健康世紀」と位置づけ、世界中の人々の生きる力を支え続けていく、歯科界のリーディングカンパニーをめざします。

代表取締役社長

中尾潔貴



健康な歯や口腔を維持し続けることは人々のQOL（Quality Of Life）の向上に直結するということが、近年明らかになってまいりました。そのような中、歯科医療は「生きる力を支える医療」として皆様の口腔健康の向上のために、一層の役割を果たすことが求められています。株式会社ジーシーは、高齢化が進む社会と健康長寿の志向など、社会や市場のニーズの変化にお応えしながら、「健康世紀」の実現に貢献してゆく所存です。

東京都文京区本郷にある本社“GC Corporate Center”は、最新の歯科医療情報の発信拠点であるとともに、歯科医療従事者の皆様とのコミュニケーションの場として2011年に完成しました。学術セミナー、学習プログラムなど、さまざまなイベントを企画・運営し、おかげさまで2022年9月にはオープン以来、27万3千人を超えるお客様をお迎えすることができました。これからも更に情報発信などを通してお客様との交流に努めてまいります。

また、日本を筆頭に世界で急速に進行している高齢化社会の課題であります、“平均寿命”と“健康寿命”的乖離を解消

するために、口腔健康の向上が高齢者のQOLの向上をさせるという考えのもと、歯科医療ができるなどを検討すべく、ジーシーは2015年8月にFDI（国際歯科連盟）と「Oral Health for an Ageing Population Partnership」というプロジェクトを立ち上げております。今後、世界の皆様の新たなニーズにお応えできる歯科医療機器の開発も視野に入れて活動していきます。

おかげ様で株式会社ジーシーは2021年に創業100周年を迎えることができました。創業100周年を機に、その先を見据えた「Vision 2031：健康長寿社会を実現する歯科界のリーディングカンパニーとなる」を制定し、持続的成長の実現に努力するだけでなく、常に会社の目的である「口腔健康の向上を通じ地球社会に貢献する」に導かれ、歯科分野における社会的課題の取り組みをリードしていく所存です。

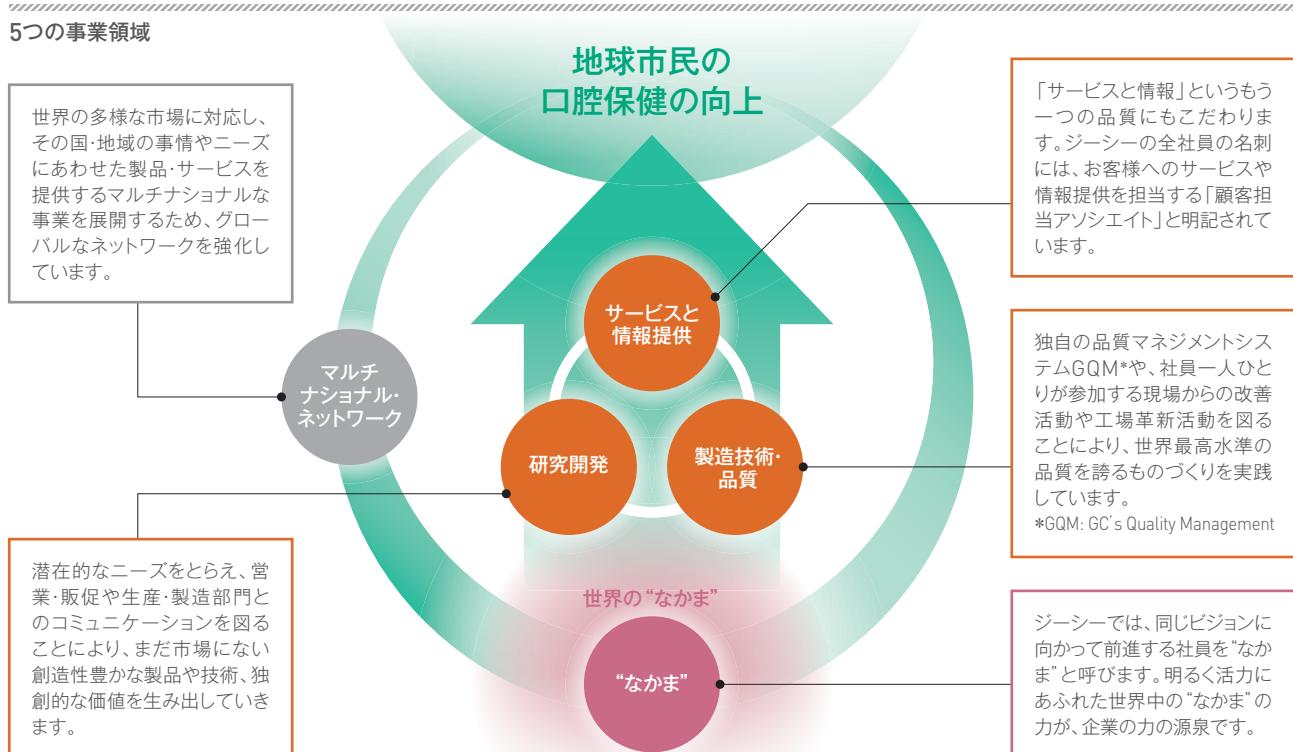
創業より現在までの長きにわたり、弊社株式会社ジーシーを支えていただきました皆様に、心から感謝と御礼を申し上げ、社は“施無畏”的精神のもと、これから的是非に満ちた歯科界づくりへ向け全力で取り組んでいきたいと思います。

## VISION 2031

“To become the leading dental company committed to realizing a healthy and long-living society”  
**健康長寿社会を実現する歯科界のリーディングカンパニーとなる**

## ジーシーグループは、優れた技術から生まれる 歯科医療製品を提供し、世界の人々の健康を支えています。

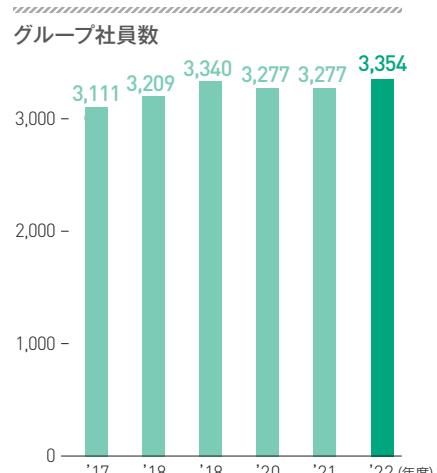
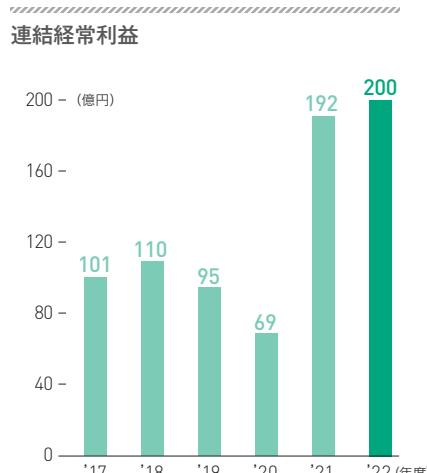
ジーシーの優れた技術から生まれる歯科医療製品は、日本はもちろん世界中の歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士の皆様を通じ、多くの市民の健康に貢献しています。そして今、ジーシーは世界的な歯科医療総合メーカーとして5つの事業活動を総合し、「地球市民の口腔保健の向上」を実現すべく新しい価値を創造していきます。



### 会社概要

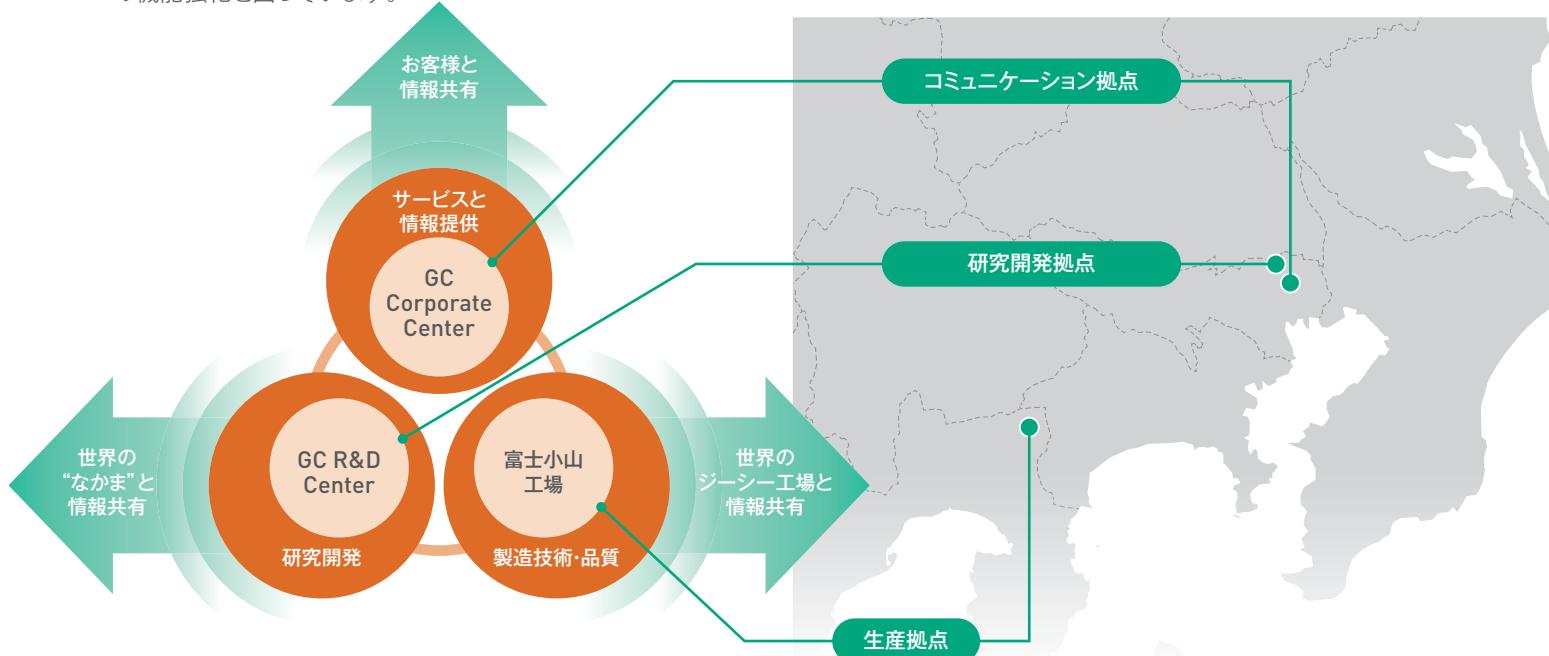
社名	株式会社ジーシー
代表者	代表取締役社長 中尾 潔貴
設立	1921年2月11日
資本金	9億5千万円

従業員数	1,140名(連結3,354名)
本社	〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-14
事業目的	歯科材料および関連機械・器具の製造販売
製品	歯科材料および関連機械・器具24,354品目



## ジーシーグループ3拠点体制

ジーシーは創業90周年を迎えた2011年、東京・本郷に「GC Corporate Center」を新設して、情報発信の拠点、歯科医療に関する皆様とのコミュニケーションの場として活用しています。研究開発機能を担う東京・板橋の「GC R&D Center」、ジーシーグループの世界のマザー工場で富士山の裾野にある「富士小山工場」と併せて、この3事業所を事業の3大拠点として各々の機能強化を図っています。



### GC Corporate Center

2011年に東京・本郷にオープンした「GC Corporate Center」は、お客様とジーシーのコミュニケーションの拠点です。同館は、ジーシーの本社機能を備えるほか、お客様への情報提供空間として年間約2万人が訪れます。「カスタマーエンタープライズエンタテインメント」「価値の共有と癒しの空間」という2つの設計コンセプトをもとに、講演会やセミナーの開催スペース、診療空間を体験できるショールーム、新たな歯科材料・機器を臨床的な空間で疑似体験していただける研究ラボなどを備えて、お客様をお待ちしています。



### GC R&D Center

製品開発に特化した活動拠点として、2012年9月、東京・板橋にフルオープンしました。なかま同士のコミュニケーションを活性化させるコミュニケーションループ\*の理念にもとづいて設計された建築となっており、建物の各所にコミュニケーションを活性にする仕掛けがあります。営業を通じて得られたユーザーの皆様からの声などをもとに、研究者同士の創造性が触発され合う空間の中で、新たな価値創造に向けた研究・開発に取り組んでいます。

\*コミュニケーションループ:社員間のコミュニケーションを活性化することで、大胆なイノベーションを図っていく考え方。



### 富士小山工場

1976年に竣工した世界のマザー工場。歯科材料製品10,050品目、歯科機械製品3,285品目を厳しい品質管理のもとで生産しています。「絶対品質」を実現する世界NO.1の歯科工場をめざし、現場でさまざまな品質管理や改善活動を進める独自の工場革新活動「GC Factory Way」を実践。その活動成果は世界の工場に広がっています。また、社内の専門教育機関である「ものづくり大学」を併設し、高い技能を持った人材を育成して海外の生産拠点へ送り出しています。



## グローバルネットワーク

世界の国や地域により、求められる製品・サービスは異なります。基となる医療制度・教育制度などにより歯科医療への取り組みは大きく異なり、日本の市場並みの高品質の製品より、安くて購入しやすい製品が求められる場合もあるのです。こうした世界各地の市場ニーズに応えるため、ジーシーグループはグローバル化という世界統一概念ではなく、各々の地域特性に即した活動「マルチナショナル化」を推進。アメリカ・ベルギー・中国の世界3大生産拠点に加え、2013年に開設したインド工場で現地生産体制を構築し、地域の特性にあわせた「世界最適地生産」を推進しています。現地化を担う海外生産拠点は、国内工場と同様に品質管理の最高峰:デミング賞などを受賞しています。また2013年2月、ジーシーではアメリカ、ヨーロッパ、東南アジア・オセアニア地域を拠点とする海外グループ会社の統括会社としてGC International AGをスイスに発足。新製品の開発やロジスティクスも含め、国や市場の特性に合わせたマルチナショナルな対応を推進しています。2015年10月には、GCLE(GC Laboratory Europe esv)をGC Europe内に設立いたしました。特にヨーロッパ市場向け材料の研究開発を目的とし、現地のマーケティングスタッフとともに材料の設計・開発を行うことにより、ニーズにあった製品を迅速に開発していきます。



### 本社・関係会社

- 株式会社ジーシー
- 株式会社ジーシーR&D.Mfg
- 株式会社ジーシーデンタルプロダクト
- 株式会社ジーシーアサヒ
- 大成歯科工業株式会社
- 新見化学工業株式会社
- 株式会社ジーシーインターナショナル
- 株式会社日本歯科商社
- 株式会社デンタルダイヤモンド社
- 株式会社ジーシーデータランド
- 株式会社ジーシーアイコミュニケーションズ
- 株式会社ジーシーオルソリー
- 株式会社ジーシー昭和薬品

### 海外の主な拠点

- GC International AG (スイス)
- GC AMERICA INC. (アメリカ)
- GC ORTHODONTICS AMERICA INC. (アメリカ)
- GC SOUTH AMERICA LTDA (ブラジル)
- GC EUROPE AG (ベルギー)
- GC EUROPE N.V. (ベルギー)
- KLEMA DENTALPRODUKTE GMBH (オーストリア)
- GC TECH. EUROPE GMBH (ドイツ)
- STICK TECH LTD (フィンランド)
- GC ORTHODONTICS EUROPE GMBH (ドイツ)
- GC ASIA DENTAL PTE. LTD. (シンガポール)
- GC AUSTRALASIA DENTAL PTY. LTD. (オーストラリア)
- GC India Dental Pvt Ltd (インド)
- GC KOREA CO., LTD. (韓国)
- GC TAIWAN DENTAL CORP. (台湾)
- GC DENTAL (SUZHOU) CO., LTD. (中国)
- GC DENTAL (SUZHOU) CO., LTD. SHANGHAI BRANCH (中国)

## 地球規模の健康長寿社会の実現をめざし、 事業そのものを通じてさまざまな課題解決に貢献します。

ジーシーグループのCSRの原点は、「施無畏」という創業の精神にあります。相手の立場に立ってすべてを行うというこの教えは、100周年を迎えた現在も社是として受け継がれており、ジーシーグループは企業活動のすべてにおいて「施無畏」の精神を実践しているのです。世界中の「なかま」の一人ひとりが、社是のもとと思いを一つにし、行動規範に基づいて行動することで、「健康長寿社会」の実現をめざします。歯科医療総合メーカーという事業そのものを通して、人々の健康に関わるさまざまな課題解決に貢献したいと考えています。

### CSRの理念体系

社是	<h3>施無畏 [SE MU I]</h3> <p>眞の製品とは自己を空しして相手の身になってつくったもの いわば相依る存在である 中尾 清</p> <ul style="list-style-type: none"><li>1. 「口腔保健の向上を通じ、地球社会に貢献する」</li><li>2. 「企業品質の向上を図り、ステークホルダーの信頼にお応えする」</li><li>3. 「敬愛に満ち、明るく活力にあふれた“なかま”集団を形成する」</li></ul>
経営理念	<p>企業スローガン</p> <h3>みんなで築こう健康世紀</h3>
Vision 2031	<p>“To become the leading dental company committed to realizing a healthy and long-living society”</p> <p><b>健康長寿社会を実現する歯科界のリーディングカンパニーとなる</b></p> <p><b>To create “value” for stakeholders based on SEMUI.</b></p> <p><b>施無畏の実践により、ステークホルダーの価値を創出する</b></p> <p>Tackling “global oral health” issues to improve people's quality of life. 「世界の口腔健康課題」への取り組みによる、人々のQOLの向上</p> <p>Providing “world-wide innovative solutions” to meet individual needs. 「世界に通用する革新的ソリューション」提供による、お客様ニーズへの対応</p> <p>Creating long-lasting relationship and “win-win” situation by being an accountable partner. パートナーの信頼獲得による、永続的な「Win-Win」関係の構築</p> <p>Offering all “Nakama” a valued, exciting and unbiased workplace and enhancing their talents. 「なかま」全員が互いを認め合う、多様性を尊重する明るい職場創りとスキルの向上</p> <p>Contributing to a “sustainable society” by promoting oral care while maintaining an eco-friendly environment. 口腔ケアの普及と環境維持活動への取り組みによる、「持続可能な社会」への貢献</p>
Mission	<p>ジーシー社員は、施無畏の精神を念頭におき、常に行動規範に基づいて行動し、ジーシーの社会的信頼の維持・向上を図ります。</p> <ol style="list-style-type: none"><li><b>法令の遵守</b> 企業人として、すべての法令を遵守した活動を行います。</li><li><b>社会的責任の遂行</b> 口腔保健に携わる企業人としての社会的責任を自覚し、社会に望まれる企業を目指します。</li><li><b>地球環境の保持</b> 地球環境に優しい製品の創出とサービス活動を通じ、環境保全に貢献します。</li><li><b>ステークホルダーへの配慮</b> お客様、お取引先、社員、株主、地域社会を中心とするステークホルダーとの共生を図り、企業品質の向上を目指します。</li><li><b>社会とのコミュニケーション</b> 歯科医療に携わる企業人として、社会とのコミュニケーションに努めます。</li></ol>
行動規範	

# CSR HIGHLIGHT

## ジーシーグループが行った、 事業を通じたCSR活動の一部をご紹介します。

### 製品・サービスを通じた健康長寿社会への貢献

#### 「GC友の会」の活動

歯科医療従事者の方々を対象とした会員組織「GC友の会」では、1956年の誕生以来、最新で有益な情報の共有を通して歯科医療を積極的にサポートしています。現在、日本国内の約半数の歯科医院が会員で、韓国や台湾、インドでも同様の組織を展開しています。また近年では、超高齢社会に対応した情報発信として、高齢者や有病者の患者さんへの歯科臨床や対応方法について、講演会や動画配信などを通じて積極的に情報発信を行っております。



▶ P.21参照

#### 在宅訪問医療のパッケージを開発

▶ P.23参照

高齢者の健康をサポートする在宅訪問医療にも積極的に取り組んでいます。経済産業省の委託事業として歯科界全体で開発を進めてきた「在宅訪問歯科診療専用ポータブル器材パッケージ」を、2014年に完成・発売しました。その他、高齢者専用の口腔ケアブラシ「プラティカ」シリーズを発売するなど、「健康寿命」の延伸に貢献しています。

### ステークホルダーとのコミュニケーション

#### ジーシー独自のデンタルカレッジ

▶ P.25参照

ディーラーへの専門教育をサポートするために、若手社員の方々が歯科や製品の基礎知識を学ぶ特約店デンタルカレッジを全国各地



で毎年開催しています。また、デンタルカレッジを通じて、ディーラーの皆様に正しい医療技術や詳しい製品情報を伝えながら、お客様一人ひとりの声のフィードバックをお願いしています。

#### ブラッシング教室の開催

▶ P.28参照

ジーシーでは、地域の歯科医師会と協力して、クリーンフェアなどの市民イベントへの参加、学校や企業へ出向いてのブラッシング教室



などを定期的に行ってています。GC蘇州では、社会の一員として歯の健康に貢献するため、2011年より幼稚園、小学校や住宅団地でのブラッシング指導、中学生向けの歯科研修活動を行っており、累計では36回実施、1,614名が参加しています。

### 環境保全活動とグリーン・デンティストリー

#### グリーン・デンティストリーへの取り組み

▶ P.33参照

グリーン・デンティストリーとは、歯科の業務による地球環境への影響を抑え、患者様の健康的な生活の維持を支援する、FDI(国際歯科連盟)が提唱する考え方です。ジーシーはグリーン・デンティストリーの考え方を実践し、「廃棄物と汚染の削減」「水とエネルギーの削減」「先端技術の導入」「健康的なライフスタイルの支援」の4つの指針で先端的な技術や製品開発、サービスを提供しています。

### 国内・海外での地域貢献活動

#### 地元歯科医師会との連携

▶ P.40参照

地元歯科医師会による社会貢献活動へのサポートを行っています。東京都文京区や板橋区では、毎年開催される「歯と口の健康づくり」や「すこやかシルバー8020」などのイベントにジーシーも参加し、記念品の提供や予防関連製品の展示説明などを行っています。

#### GCヨーロッパキャンパスで歯科従事者に研修を提供

▶ P.43参照

GCヨーロッパは、最先端の研修設備であるGCヨーロッパキャンパスを各地に設置しており、これらのキャンパスにおいて歯科従事者に総合研修コース、その他の研修を提供しています。これらの実地研修の他にもインターネットを通じて、ウェビナーも随時企画し、さまざまな媒体やニュースレターで定期的に教育コンテンツも発信しています。

### 多様な人材活用と働きやすい職場づくり

#### 社内デンタルカレッジの実施

▶ P.45参照

刻々と変化するニーズに応えるため、「歯科医療のプロ」を育てる独自の教育システムを構築しています。「社内デンタルカレッジ」の中で、社内資格の「DR(Dental Representative:歯科医療情報担当)」を取得できるプログラムを用意し、製品の正しい情報、効能やリスクを歯科医師の先生方に提供できる体制を整え、歯科医療への貢献に努めています。

# 地球サイズの人づくり、 明日づくり。



**ジーシーのこころを世界にひろげる、  
マルチナショナルな“人財”育成。**

ジーシーの社是である「施無畏」。相手の立場にたってすべてを行うことを意味する創業者の思いが、ジーシーの人材育成の根底に流れています。開発、生産、販売のすべてにわたり、お客様や生活者のニーズを第一に考える。そんなジーシーのこころを世界各地で実践するため、世界共通の教育カリキュラムを作成し、地球サイズで人材を育成する取り組みが進んでいます。質の高い“人財”を世界各地で育成することで、その国・その地域のニーズにきめ細やかにお応えする、マルチナショナルなサービスの実現をめざします。



**日本で培った独自の教育システムを  
海外にも展開します。**

ジーシーには、世界共通の教育カリキュラムのベースとなる、多彩な教育制度があります。節目ごとに行われる階層別教育に加え、品質管理を徹底するためのGQM(GC's Quality Management)教育やコンプライアンス教育、社員やディーラーが歯科の知識を身につけるためのデンタルカレッジ、富士小山工場を開設され、ものづくりのマイスター育成を図る社内教育機関ものづくり大学など、通常の社員教育の枠を越えた教育制度が整っています。こうしたジーシー独自の教育システムを海外にも展開していきます。また、2022年9月より新たに「なかまエンゲージメント調査」を全世界で開始し、その結果を人材育成に活かしてまいります。





海外グループ企業のリーダーと中尾最高顧問がふれあう、「海外中尾塾」を定期的に開催。

ジーシーでは、同じビジョンに向かって共に前進する社員を「なかま」と呼びます。こうした「なかま」の考え方を共有し、社是である「施無畏」を実践するために、海外グループ企業の管理職以上のメンバーを日本に招待し、中尾最高顧問自らがジーシーのこころをレクチャーするのが、「海外中尾塾」。5年に一度のペースで定期的に開催されています。海外グループ企業のリーダーたちは、寺社で座禅を組むなど日本の文化にふれながら、すべてにおいて相手の立場にたつ施無畏を理解し、自らの職場



でわかつあついていきます。

海外中尾塾で学んだ“ジーシーのこころ”を、ヨーロッパのなかまたちに伝えています。

2011年2月に開催された第1回海外中尾塾に参加し、ジーシーの企業理念、歴史、Visionなどをわかりやすくご説明いただきました。海外中尾塾の終了後は、受講者全員に“ジーシーのこころ”的トレーニングを海外の各拠点で実施することが課題として与えられました。私は、その後3年間GCヨーロッパのなかまたちにトレーニングを行いました。いま、GCヨーロッパでは、“ジーシーのこころ”的トレーニングは標準化され、すべてのなかまに展開されています。



GCIAAG  
Gideon Blumenthal

## 歯科医療従事者の生涯研修を、国内外で支援しています。

世界の歯科医療の進歩に貢献するために、ジーシーでは歯科医療従事者への最新情報の提供や生涯研修の支援にも積極的に取り組んでいます。

### GC友の会

歯科医師や歯科技工士、歯科衛生士の方々を対象にした会員組織です。最新の学術情報や新製品情報の提供、会員誌「ジーシーサークル」の発行などで歯科医療に関わる情報ニーズにお応えしています。日本をはじめ韓国、台湾、インドで展開しています。



### 国際歯科シンポジウム

国内外の著名な研究者・臨床家を講師に迎えたシンポジウムを定期的に開催。その他、講演、セミナーなどを現地、オンラインにて開催しています。



### GCヨーロッパキャンパス

GCヨーロッパの最先端研修設備であり、ベルギー本社、イタリア、スペイン、イスラエル、フランスに設置されています。このキャンパスでは歯科従事者に総合研修コースをはじめ多彩な研修を提供しており、さまざまな媒体やニュースレターで定期的に教育コンテンツも発信しています。



# ジーシーグループ CSR活動 News Flash ニュースフラッシュ 2021年11月～2022年10月

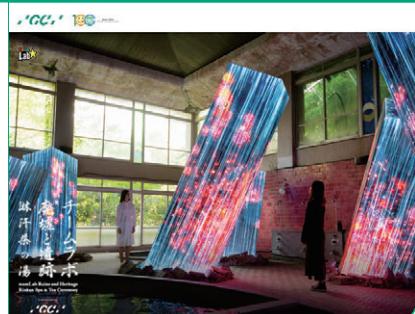
多様なステークホルダーと対話しながら、ジーシーグループは社会的責任を果たします。

2021年12月

## 創業100周年記念事業としてアート展「チームラボ 廃墟と遺跡：淋汗茶の湯 - ジーシー」に協賛いたしました

弊社は創業100年を迎え、次の100年はさらに多くの人々：“歯科医療従事者の方々だけではなく、世界中のより多くの人々”に、「お口の健康」の大切さに少しでも興味を持っていただく機会を提供いたしました。アート集団チームラボの展覧会「チームラボ 廃墟と遺跡：淋汗茶の湯 - ジーシー」に協賛いたしました。本アート展を通じ、より多くの皆様に「お口の健康」に対する想いをお伝えできる機会となればと願っております。

「お口の健康」とは、単に「虫歯がない」ということではなく、笑顔、発音、咀嚼、嚥下に不自由を感じないお口の状態を指します。その状態をもって「人と人が元気につながる」「人と人が自信を持ってコミュニケーションできる」ことが、「心と身体の健康」「人々の幸せ=well-being」につながるものと、私達は確信しています。



2022年1月

## 創業100周年記念事業としてOVER ALLsによるWall Artを描きました

創業100周年記念事業の一環として、静岡県にある富士小山工場第二工場の建屋壁面にWall Artを描きました。

今回Wall Artを制作いただいたのは、株式会社OVER ALLs(本社:東京都世田谷区、代表取締役:赤澤岳人 氏)で、「企業の理念や歴史、ミッションをアート(壁画)にて表現する」という活動をされています。

アートプランは、創業者の一人である故・中尾清の「富士山の見える場所に、工場を建設したい」という想いに着想を得て、ここから世界を見ていこう、製品をお届けしようという想いを縦20m、横26mの巨大なWall Artとして描いております。

特設ウェブサイトではその制作過程をまとめたMovieや記事を紹介しております。

森とアートの工場へ…  
富士小山工場  
**Wall Art**

株式会社ジーシー 創業100周年記念事業の一環として、富士小山工場第二工場の建屋壁面にWall Artを描きました。

壁画の縦は20m、横26mの工場の壁面の壁紙。

そこに描かれたのは……。



2022年4月

## 「株式会社ジーシー創業100周年記念 第5回 国際歯科シンポジウム」を開催いたしました

コロナ禍により1年の延期を経て、2022年4月16日(土)・17日(日)の2日間にわたり、東京国際フォーラム(東京都千代田区)にて、「株式会社ジーシー創業100周年記念 第5回国際歯科シンポジウム」を開催いたしました。

5回目を数える今回は「Smile for the World ~Beyond the Century~」をメインテーマに、国内外18カ国より、様々な分野で活躍される112名の研究者・臨床家に28のテーマにて開催しました。開催中、7つのセッション模様は全世界に配信し、世界各国の歯科医療従事者に視聴いただきました。

今回初の試みとして、歯科医師向けの16セッションはすべての講師より英語にてご講演いただき、世界に向けて日本国内の先生方の素晴らしい研究や臨床を発信させていただきました。また、GCデンタルショーを併催し、新製品やシンポジウムのご講演に関連する製品の他、歯科医院の先生方やスタッフの皆様に歯科医療に集中できる空間を提案する「G-ZONE」のご紹介や、全国各地の先生方のもとで歯科用ユニットやレンタル機器を実際にご覧いただける移動展示車などをご紹介いたしました。



2022年4月

### 歯科業界初のお笑いコンテスト「歯-1グランプリ(はーわんグランプリ)」を開催しました

2022年4月に開催した「株式会社ジーシー創業100周年記念 第5回国際歯科シンポジウム」のGCデンタルショー併設のステージでは、歯科業界初のお笑いコンテスト「歯-1グランプリ(はーわんグランプリ)」を開催しました。

歯-1グランプリのコンセプトは“歯をテーマにしたお笑いイベントで口腔健康にさらなる興味を”。

ダチョウ俱楽部さんが総合司会を務め、25組の芸人が歯をテーマしたお笑いネタで、優勝賞金をかけて競いました。

このイベントは、シンポジウム参加者以外も観覧でき、大勢の観客が詰めかけ、にぎわいを見せました。



2022年5月

### 独創性溢れる創業100周年記念誌が第43回「2022日本BtoB広告賞」審査委員会特別賞を受賞しました

第43回「2022日本BtoB広告賞」においてジーシー創業100周年記念誌『Smile for the World』が審査委員会特別賞を受賞いたしました。

日本BtoB広告賞は、BtoB広告の普及・振興をはかるために1980年から開催しているBtoB広告作品のコンテストです。

本書は創業以来ジーシーが大切にし、今後も変わらない製品づくりやサービスへの想いの根底にある「施無畏」「なかま」「ビジョン経営」について、時代を越えて語り継がれる童話と共に表現し、皆様によりわかりやすくお伝えできればという願いから生まれました。

裏面には、「笑う」「食べる」「話す」という人の活動の源である「お口の健康」そして「みんなが笑って過ごせる世界」を願い、日本各地、世界の様々な国や地域で、製品やサービスを通じてのジーシーの取り組みを近未来の世界としてイラストで表現いたしました。



2022年5月

### 富士小山工場で環境ボランティア活動を実施しました

弊社の主力工場である富士小山工場(静岡県駿東郡小山町)では、長年続けているボランティア活動として今年度も5月28日(土)に工場構内と周辺エリア含め約5kmの範囲でごみ拾い活動を開催いたしました。

社員、さらにご家族も参加し合計106名規模で行われました。

富士小山工場は2020年に緑化優良工場等表彰「経済産業大臣賞」を受賞しております。

この賞は静岡県経済産業部商工業局から推薦されて受賞されるものですが、緑化率の維持・向上、地域環境との調和や配慮、並びに地域社会とのコミュニケーションなどが経済産業省に評価されて決定したものです。

今回の環境ボランティア活動をはじめ、今後も積極的な環境活動を進めてまいります。



2022年6月

### 国立大学法人東京医科歯科大学と「TMDUオープンイノベーション共創制度」に基づく包括連携協定を締結しました

国立大学法人東京医科歯科大学と株式会社ジーシーは2022年6月9日に「TMDUオープンイノベーション共創制度※」に基づく包括連携協定を締結しました。

包括連携協定では、国際的ネットワークを生かし、チャーリッヒ大学をはじめとする海外研究施設との連携を促進し、人材交流による研究者の育成や、国際的な価値ある研究を促進します。これらにより新たな製品の創出と事業拡大へ繋げ、世界の人々のQOL(Quality Of Life)の向上を支え、「生きる力を支える医療」として一層の役割を果たすことを目指します。

#### 【協定内容】

1. 口腔機能の維持・向上から全身への健康寿命延伸を目指し、歯周治療を含む歯科再生医療と、口腔機能の維持・向上のための検査、開発を促進し、臨床的有用性の高い情報や製品を創出します。
2. 東京医科歯科大学附属病院先端歯科診療センターにクリニカルラボを設置し、臨床的に有用なアイデアの創出と、研究のアウトプットから社会実装を円滑に進めます。
3. 本包括連携協定強化のプレゼンスとして、クリニカルラボにネーミングライツを実施し、「GC CLINICAL LABORATORY」とします。

※ TMDU(東京医科歯科大学)と企業とが、共通のビジョン・目的・戦略の下での「組織」対「組織」の連携体制を築き、本格的、多角的な連携を実現する制度。



2022年10月

### GC Corporate Center増築Ⅱ期工事の地鎮祭が執り行われました

GC Corporate Center(東京都文京区本郷)は、GCブランドの情報発信基地・GC GLOBAL BASEに生まれ変わるため、「GC Corporate Centerバリューアッププロジェクト」と銘打って、増築計画をスタートしています。

ジーシーでは、創業100周年を機にVision 2031「健康長寿社会を実現する歯科界のリーディングカンパニーとなる」をかけ、唯一無二の歯科企業を目指し、100周年活動の一つとして、2024年6月の竣工を目指しプロジェクトを推進しております。

大安である2022年10月4日に行われた地鎮祭では、湯島天満宮を斎主に、設計・施工会社である鹿島建設株式会社、本館に続き設計監督をお願いしている株式会社谷口建築設計研究所をはじめ、多くの関係者に出席していただき、今後の工事の無事故、無災害を祈念しました。



2022年10月

## GCホームページに「SDGsへの取り組み」を開設しました

ジーシーでは1997年に「環境方針」を制定し、本格的な環境管理活動をスタートさせております。

以降「環境方針」にもとづき策定した中期経営計画を踏まえ、各事業所においてもそれぞれに目標を策定し、具体策を検討して環境負荷の低減に取り組んできました。

また、2021年に定めたVision 2031を機に環境以外にも歯科医療課題に向けた研究開発や健康増進、働きやすさなど持続可能な社会への取り組みを進めており、あわせて今後の方向性を示すマテリアリティ(重要課題)を策定し更なる活動の促進をグループ全体で図っております。

SDGs特設ページでは、マテリアリティと活動事例を紹介しております。



ジーシーにおけるマテリアリティ

### 製品・サービスを通じた歯科医療課題への対応

- ・イノベイティブな製品・サービスを通じた歯科医療課題への対応

1 人々  
1. 人々  
1. 人々

3 健康  
3. 健康  
3. 健康

4 知識  
4. 知識  
4. 知識

9 生産  
9. 生産  
9. 生産

10 持続可能  
10. 持続可能  
10. 持続可能

17 マテリアリティ  
17. マテリアリティ  
17. マテリアリティ

<

### 責任ある製品・サービスの提供

- ・品質と信頼の追求
- ・サプライチェーンマネジメントの強化

3 健康  
3. 健康  
3. 健康

4 知識  
4. 知識  
4. 知識

8 生産  
8. 生産  
8. 生産

9 生産  
9. 生産  
9. 生産

12 リサイクル  
12. リサイクル  
12. リサイクル

13 環境に配慮  
13. 環境に配慮  
13. 環境に配慮

17 マテリアリティ  
17. マテリアリティ  
17. マテリアリティ

<

### 魅力ある職場の実現

- ・働きやすい職場環境の確保
- ・ダイバーシティの推進
- ・人材の育成
- ・健康増進と労働安全の推進

1 人々  
1. 人々  
1. 人々

3 健康  
3. 健康  
3. 健康

4 知識  
4. 知識  
4. 知識

5 ダイバーシティ  
5. ダイバーシティ  
5. ダイバーシティ

8 知識  
8. 知識  
8. 知識

10 人材開発  
10. 人材開発  
10. 人材開発

<

### 環境への配慮

- ・製品ライフサイクルにおける環境配慮
- ・事業所活動における環境負荷低減

6 環境配慮  
6. 環境配慮  
6. 環境配慮

7 環境配慮  
7. 環境配慮  
7. 環境配慮

11 環境配慮  
11. 環境配慮  
11. 環境配慮

12 リサイクル  
12. リサイクル  
12. リサイクル

13 環境配慮  
13. 環境配慮  
13. 環境配慮

14 環境配慮  
14. 環境配慮  
14. 環境配慮

15 環境配慮  
15. 環境配慮  
15. 環境配慮

16 環境配慮  
16. 環境配慮  
16. 環境配慮

<

### ガバナンスの強化

- ・コーポレート・ガバナンスの強化
- ・コンプライアンスの強化
- ・リスクマネジメントの強化

11 環境配慮  
11. 環境配慮  
11. 環境配慮

16 環境配慮  
16. 環境配慮  
16. 環境配慮

17 マテリアリティ  
17. マテリアリティ  
17. マテリアリティ

# ヒトと地球の健康に貢献する、 世界一の歯科企業を目指して。

「健康長寿社会に貢献する世界一の歯科企業への挑戦」——

そんなビジョンを掲げるジーシーにとって、歯の健康を通して人々のQOLを支える事業そのものがCSR活動といえます。

5つの課題解決を通じてヒトと地球の健康に貢献する、ジーシーの活動をご報告します。





活動報告

1

P.17

## 製品・サービスを通じた健康長寿社会への貢献

お客さま視点での商品開発や徹底した品質管理、超高齢社会への対応など、製品・サービスそのものを通じて健康長寿社会に貢献します。

活動報告

2

P.25

## ステークホルダーとのコミュニケーション

お取引先への情報提供やCSR調達、歯と健康のための生活者への啓発活動など、多様なコミュニケーションを通じてステークホルダーへの貢献を図ります。

活動報告

3

P.29

## 環境保全活動とグリーン・デンティストリー

生産プロセスから発生するCO<sub>2</sub>や廃棄物の削減にとどまらず、歯科の業務による地球環境への影響を抑える、グリーン・デンティストリーを実践します。

活動報告

4

P.39

## 国内・海外での地域貢献活動

国内・海外の各地において、清掃活動や地元医師会との連携など、その土地の企業として地域に貢献しなくてはならない企業を目指します。

活動報告

5

P.44

## 多様な人材活用と働きやすい職場づくり

その地域の歯科医療レベルを高める人材教育や、現地採用の促進など、人材育成や安全・健康な職場づくりを通じて地域や社員の暮らしに貢献します。

## ユーザーの声を活かした製品開発

ジーシーは、健康長寿社会への貢献をめざして、世界各地のユーザーの異なるご要望に合わせ、それぞれの製品開発を推進しています。各地での大学や研究機関との協働や、また顕在化していないニーズを探求することで、獲得した成果や知り得た情報を世界中のジーシーで共有し、製品開発に活かしています。そして、まだ市場にない創造性豊かな製品や技術、独創的な価値を次々に生み出しています。

### お客様の声に対する姿勢

ジーシーでは新製品開発や製品改良において、お客様のご意見、ご要望を活かすため、以下のように取り組んでいます。

- よいご意見が大多数の場合でも、少数のネガティブなご意見に耳を傾けて製品化に取り組むことにより、満足度の高い製品開発をめざします。
- お客様へ操作性、諸物性、審美性などを向上させた高い品質の製品を適正な価格で販売できるよう、また正しくお使いいただけるように情報提供に努めます。
- 現状に満足せず、常にお客様に喜んでいただけるように、お客様の声を聴き取れる社員の教育、スキルアップを推進していきます。

### ユーザーの声を活かす仕組み

ジーシーでは、お客様に使いやすい製品や製品情報を提供するため、モニター結果を活かした製品開発やリアルな情報展開に努めています。

#### [モニターの実施]

新製品開発段階において臨床使用ができる適切な時期に、臨床家の先生方に開発中の新製品をお試しいただき、その使用感、操作性、物性、色調調和性など種々の設計した品質の完成度を確認しています。そして、モニター結果に基づき、さらに操作性などを向上させた新製品を開発し、お届けしています。

#### [情報展開]

モニターを含む、臨床家のご意見やご臨床での写真などを活用して、製品パンフレットやリーフレット、「GC友の会」会員向け季刊誌である「ジーシーサークル」などにも、使いやすさや臨床での利点などを紹介しています。

### ジーシーの新拠点「GC Corporate Center」

2011年3月、東京・本郷に「GC Corporate Center」を開設しました。「医療従事者」「流通の皆様」「社会(団体)」そして「ジーシー社員」が、館内の設備や製品を通じて情報の共有や意思の疎通を図り、新しい価値の創造を生み出す「コミュニケーション・ループ」の場とする目的とし、お客様フロアとなっている5~8階には、年間約2万人ものお客様にご来館いただいています。

ジーシーでは、「GC Corporate Center」をご利用いただくことで生まれる活発なコミュニケーションを、世界中の人々の口腔健康の向上および歯科医療業界のさらなる発展へつなげるべく、これからも活動していきます。

#### お客様フロア利用者間のコミュニケーション・ループの形成

コミュニケーションの循環系「コミュニケーション・ループ」を形成  
情報の共有や意思の疎通を促す



## 製品開発ストーリー(製品事例)

### ルシェロ歯みがきペーストホワイト

男女問わず幅広い年齢層に关心の高い「歯の色(着色・変色)」に着目し、ジーシー初の美白歯磨剤「ルシェロ歯みがきペーストホワイト」を開発しました。

“歯面は白くなるが傷ついている” “歯面の白さが持続しない”などの市場の声から、「歯や被せ物などを削らずに歯面が白くなると実感できる歯磨剤」をコンセプトとし、歯より軟らかい炭酸カルシウムをキーマテリアルとしています。また審美歯科イメージにも合うようパッケージも考慮し、「美白歯面」を連想させるデザインを採用しました。今後は臨床モニターで得た“患者本人が白さを実感でき、歯磨きのモチベーションUPに繋がる”というご意見を踏まえ、本歯磨剤の技術を予防歯科の他製品に展開した開発に取り組んでいきます。



### テンスマート

国内で初めてジーシーが開発した、オートミキシングタイプの暫間修復材料です。暫間修復材料は、日本では通常粉と液を手で練和するタイプが使われており、オートミキシングタイプはあまり馴染みがありません。そこで高い強度や耐久性、使い易さや便利さをお客様にお伝えするため、特徴や使い方が分かり易いパンフレットや動画などを作製し情報を展開しました。動画はジーシーのウェブサイトからはもちろん、パンフレットにQRコードを載せることにより直接動画のページへアクセスすることができます。



### EOM 和(なごみ)

2022年12月に発売した歯科用ユニットEOM 和(なごみ)は、昨今のコロナ禍に伴う術者・患者さんの衛生意識の高まりを受けて、「みず」「くうき」「こころ」の3つの観点から術者や患者さんに安心を提供するユニットとして開発されました。ユニット内の水(みず)は、ユニット給水管路洗浄システムにより衛生的に保たれ、うがいのためのコップを置く位置には、うがい水をちりやホコリから守るためにエアー(くうき)のカーテンを採用しています。また、患者さんが触れる部位にSIAA認定の抗ウイルス・抗菌加工を施工、患者さんを優しく包み込むラクゼーションシート等、術者だけではなく患者さんも感じる“安心(こころ)”への想いを込めたユニットです。



### VOICE

#### 歯科界を先導する製品開発を。

東京都江戸川区  
小串歯科医院  
院長  
小串 政彦先生



当医院ではほとんどジーシー製品を使用しています。その理由は、高い品質に加え、製品説明に訪れるジーシー社員が、現場の要望を聞く耳を持っていることも大きな要因です。

当院には、ジーシーの社長をはじめ常務取締役や主任研究員といった立場の方々も足を運んでくださり、雑談をしながらも新製品開発に向けてアンテナを張っているように見受けられます。

今後も社を挙げて製品開発に取り組み、歯科医療の発展を先導する会社であり続けることを願っております。

## ジーシーの品質経営

ジーシーは、歯科医療製品を通じて世界の人々の口腔の健康に貢献し続けます。よりよい製品を提供することは私たちの使命であり、安全であることはもちろん、目的に沿った効果を発揮する品質づくりを実現できるよう、なかまの一人ひとりが努めています。

### GQM7つの特徴

- (1) GQMを経営管理手法の核としたVision経営の推進
- (2)「世界最適地」指向を基本としたグローバル戦略の推進
- (3)「世界No.1製品」づくりと、新規分野への進出を実現する製品戦略
- (4)お客様ニーズを満たした“質”をつくり込む生産力の実現
- (5)「創る人・売る人・使う人」の役割分担を徹底した営業戦略の展開
- (6)ITを活用したデジタル経営による業務の質向上
- (7)「ひと」こそが企業の力の源泉とする「なかま」の会社

GQMにもとづく品質向上への取り組み  
右上:GCA 12MO review 右下:KI活動世界大会(2016年2月)



### GQM : GC's Quality Management

ジーシーは1981年、創業時からの普遍的社是「施無畏」を体现した経営理念「社会貢献、品質第一、なかま集団」を掲げて独自の全社的品質管理GQC(GC's Quality Control)の導入を宣言しました。1995年にはGQCをGQM(GC's Quality Management)活動に発展させて、「お客様満足の向上、社員満足の向上、仕事の質の向上」の3つの柱を経営管理手法の中核に据えました。2000年からは、GQMの特徴として上記7項目を定め、企業品質向上に向けた取り組みを推進しています。

#### [ トップ診断 ]

会社の方針が各部内でどのように理解され展開されているか、どの程度実施され末端まで浸透しているのかを、社長・経営幹部が各部の現場に出向いて自身の眼で確かめようという目的で行なってきました。現在は、結果管理だけでなく、社員と経営陣が課題を見つけ合い、互いに解決に向けて活動するためのプロセス指向の場となっています。社長・経営幹部は1年に一回、約2ヶ月をかけて各部署をまわり、方針や目標の実施状況や社員の意見や要望を聞

き「診断書」にまとめ、PDCAを回しながら取り組みのレベルアップを図っています。2022年度は46回実施しました。

#### [ KI活動 ]

「仕事の質の向上」の実現に向け、KI(改善・イノベーション)活動を推進しています。各部門でテーマを設定し、毎年6月と11月に開催するKI活動発表大会で相互に啓発することで、全社的な質の向上を図っています。2022年3月には創業100周年事業の一環としてKI活動発表大会・セールスコンペティションGCCグループ決勝ラウンドを開催。予選ラウンドを勝ち上がった18テーマの発表を行いました。

#### [ CFT活動 ]

経営上の緊急かつ重要な課題については、CFT(Cross Functional Team)活動として、部門を横断して多様な経験とスキルをもったメンバーを集めてチーム編成し、トップダウンで全社的な課題解決に向け、集中的に取り組んでいます。

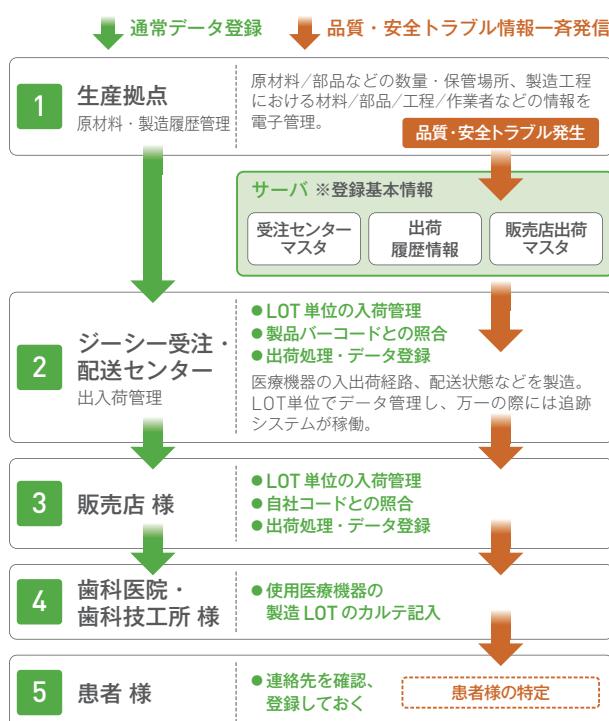
## GCヨーロッパの品質管理活動

GCヨーロッパでは、EFQM(欧州品質管理財団)の推進する品質管理法を導入しています。EFQMとは、組織のリーダーにEFQMエクセレンス・モデルを用いた学習・共有・革新の機会を提供し、組織の持続的な卓越性の達成を促進する団体であり、あらゆる産業のあらゆる部門にわたる企業や団体が会員となっています。2019年10月にはEFQMが授与する賞の中で最高位の賞である、EFQMグローバル・エクセレンス賞を受賞いたしました。同賞は過去には、ドイツのBMW、スウェーデンのVolvoなどが受賞していますが、GCヨーロッパは歯科企業として、また日系企業の子会社として初めての受賞になりました。これからも全てのステークホルダーの満足度向上のため、品質経営を強化していきます。

## 原材料から患者様までをつなぐシステム

ジーシーでは、安全と安心という目標へ向けすべての部門が一丸となって活動することで、万一製品に問題が発生した場合でも、原材料から一貫して記録した情報により問題の発生場所や原因を究明し、速やかに対策をとることが可能です。開発・製造から製品をお使いいただくまで徹底して品質を管理し、歯科医療に携わる皆様や患者様に安心してご使用いただくための努力を続けています。

## 歯科医療機器トレーサビリティ概念図



## 安全と安心をお届けする品質保証システム

ジーシーでは、製品の開発段階から販売・サービス、最終の使用段階に至るまで、一貫して品質保証活動を行う品質マネジメントシステムを確立しています。品質保証体系の中では、各プロセスの役割、インプット・アウトプットがきめ細かく定められています。

ジーシーは、品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」を1994年に業界他社に先駆け取得。2004年には、医療機器に対応した「ISO13485」も取得しています。特に「ISO13485」は国内外の製造拠点、ジーシーの全協力会社でも認証を取得しています。

## QA認定セクション制度

製造工程でのトラブルを低減させ品質つくり込みのレベルアップを図る目的で、1992年から導入している制度です。製造現場の各セクション単位で、それぞれの課題項目について評価チェックシートにもとづいて、品質保証部によるプレ予備審査・予備審査、社長・担当役員による本審査を経て、合格したセクションにQA認定証が授与されます。現在71セクションが認定を受けており、認定後も2年ごとに更新審査が行われています。

## GC蘇州でのTQM交流会

GC蘇州では、2009年から外部会社や機関とのTQM\*交流会の実施により、GQMの展開及びお互いのレベルアップを図っています。現場見学、GMP審査などの形で、KI活動の成果の発表、品質保証の仕組み、GQM活動、SDGs、現場改善活動などの説明及び質疑応答により、意見の交換や事例の紹介を行っています。

2022年は7月22日に国際卓越運営協会(卓越運営方法と技術を推進するグローバル非営利機構)を通じて、協会の企業会員23社の代表者とのTQM交流会を実施しました。今回の活動を通じて、機能別管理、製造現場の看板管理、人材育成などの面でコミュニケーションができる、視野を開拓したと同時に、現地企業のTQMレベルの向上が図れました。

\*TQM:Total Quality Management



国際卓越運営協会とのTQM交流会風景

## ユーザーへのサポート

人々の口腔健康の向上をサポートするために、ジーシーでは歯科医師をはじめ歯科技工士、歯科衛生士の皆様へ、さまざまな形で情報提供を行うとともに、最新の学術・歯科臨床について情報交換を行っています。ジーシーでは、今後もこうした連携を密にして、歯科医療の発展に寄与していきます。

### 「GC友の会」の活動

ジーシーには、歯科医療従事者の方々を対象とした会員組織「GC友の会」があります。この会は、1956年に「而至友の会」として誕生。以来、設立66年の現在に至るまで、臨床歯科医師と歯科材料製造者が唇歯輔車の関係を構築し有益な情報を共有することで、歯科医療の新時代の研究や新製品・新技術をより発展させるべく、画期的なビジネスモデルとして歯科医療を積極的にサポートし続けています。

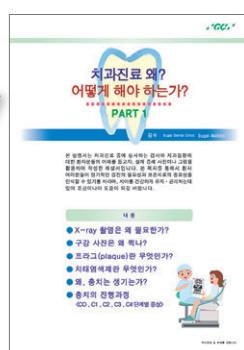
現在、日本国内の約半数の歯科医院が会員で、韓国や台湾、インドでも同様の組織を展開しています。また近年では、超高齢社会に対応した情報発信として、高齢者や有病者の患者さんへの歯科臨床や対応方法について、講演会などを通じて積極的に情報発信を行っております。



セミナーの様子



会員誌「ジーシーサークル」



韓国での患者説明用ツール

### [新製品情報の提供]

- 一般発売に先駆けた新製品紹介
- 会員誌「ジーシーサークル」での新製品による最新臨床情報の提供(年4回発行)

### [学術情報の提供]

- 学術講演会やシンポジウムの開催
- 患者説明用ツールの提供  
「補綴物ガイド」「むし歯リスク説明シート」など

### [臨床テクニック・医院スタッフ教育]

- 講演会、GCセミナー、webセミナーの開催
- Webサイトでの情報提供、セミナーの開催

### [ホームページでの情報発信]

- 「会員専用ページ」では、日常の臨床場面で役立つ情報やツール・素材集などを閲覧・体験・活用できるコンテンツとして、学術的臨床動画の配信を行っています。また、最新の学術情報をリアルタイムで提供するメールマガジン「GCインターネットだより」は、現在2万6千名を超える方々に利用されています。



台湾の広報物

## ジーシー創業100周年記念 第5回国際歯科シンポジウム

2022年4月16日17日に、創業100周年を記念した第5回国際歯科シンポジウムを東京国際フォーラムにて開催しました。「Smile for the World~Beyond the Century~」をテーマに行われたセッションは、歯科医師向け16、歯科医師と歯科衛生士向け4、歯科医師と歯科技工士向け3、歯科衛生士向け4、歯科技工士向け1の28講演。会場内の8つのホールで並行して開催し、どのセッションに参加するか、悩まれる来場者の姿も見られました。

各セッションでは、歯科の先端研究の発表から臨床ですぐに役立つ勘所まで幅広い話題を取り上げ、その講演内容も、演者同士が交互に話しながら進行するものや、ディスカッションが盛り込まれたものなど様々な形式で行われました。

また、今回は歯科医師向けのセッションの講演言語を英語とし、7セッションを世界に向けて配信しております。



「第5回国際歯科シンポジウム」会場の様子(東京国際フォーラム)

### VOICE

#### 「みんなの利益」を追求する歯科医療の発展のために。

千葉県浦安市  
医療法人社団新浦安歯科医院  
院長  
渡邊 嘉一先生



私は開業以来、GC友の会に入会しており、いつも新製品情報や会員誌を楽しみにしています。日常臨床で使用する製品の

### 「お客様窓口」による活動

ジーシーでは、歯科医療従事者様からの製品関連のお問い合わせ窓口として「お客様窓口」を設置しています。ジーシーフリーダイヤルとして1993年に発足して以来、主に製品の取り扱い方法・物性・仕様・価格などのお問い合わせに対応しています。お問い合わせ件数は発足当時に比べ50倍に増え、内容も多岐にわたる中、歯科医療従事者様はもとよりエンドユーザーの皆様までを視野に入れた、ジーシーの最前線基地としての機能を果たしています。ホームページの「製品Q&A」などのさらなる充実を図り、いつでもアクセスできる媒体による情報提供も強化しています。

The screenshot shows the GC customer service website interface. It includes sections for 'Product Q&A (for dental professionals)', 'Keyword search', 'FAQs', and 'Information & News'. The 'Product Q&A' section is highlighted in orange.

情報や評価は本当に助かります。ジーシーはドクター向け、衛生士向けなど幅広くセミナーを開催しているので、スタッフ全員と情報・知識を共有できるよう、よく参加しています。今後高齢化が進み、より患者さんにやさしく、性能のよい製品を使ったよりよい治療を提供する必要があります。「誰かの利益」ではなく「みんなの利益」を追求する歯科医療を発展させるために、GC友の会をさらに充実した存在にしていただきたいたいと思います。

# 超高齢社会への取り組み

世界でも類を見ない「超高齢社会」を迎えた日本ではいま、生きる力を支える歯科医療の役割はますます大きくなっています。歯科医療を通じて「健康寿命」延伸に貢献する、ジーシーの取り組みをご報告します。

## 口腔機能を回復させる再生医療へのアプローチ

ジーシーは、口腔機能を回復させる再生医療に、材料・成長因子・細胞の3つのアプローチから取り組んでいます。いま、iPS細胞(人工多能性幹細胞)やES細胞(胚性幹細胞)など、さまざまな細胞へ分化する万能細胞が注目を集めています。ジーシーでは、これまで広く研究されてきて

いる幹細胞の一つである間葉系幹細胞を用いた歯槽骨の再生や、歯周組織の再生をめざす研究・開発を推進。国内初の吸収性歯周組織再生用材料として開発されたジーシーメンブレンは広く臨床に利用され、保険にも収載されています。

## 歯科医療を通して高齢者の健康を守る「東京宣言」への取り組み

～FDIとのパートナーシッププロジェクト「OHAP(Oral health for an ageing population)～

2015年3月、東京で日本歯科医師会等主催の「世界会議2015」が開催され、健康寿命を延伸させるための歯科医療・口腔保健のあり方をめぐって、国内外のエビデンスに基づく歯科医療政策の提言や、急増する高齢者の健康を守るために政策などについて意見交換がなされました。本会議では最後に『東京宣言』が採択され、今後日本のみならず世界先進国の高齢化社会に共通する課題とアプローチが明確となりました。会議終了後、ジーシーは、世界の歯科界での共通問題を解決することを目的にFDI(国際歯科連盟)とパートナーシップを結び、共同で『東京宣言』の志を継いでいくことを記者会見で表明しました。2016年5月には、イスのルツェルンにてFDI-GCのOral Health for an Ageing Populationのパートナー

シップによる第1回ルツェルン会議をスタートし、OHAPシーズン1の活動として、International Dental Journalにおいて「Oral health for an ageing population : Evidence for a fundamental human right」を発行し、健康長寿の延伸と口腔保健の関与についてのエビデンスを蓄積し、また、高齢患者の健康状態・介護の要否レベルに合わせた治療指針を取りまとめたチエアサイドガイドブックを発表しました。

2021年9月にはOHAPシーズン2のキックオフが行われ、より実践的な活動ができるようにガイドブックのアップデートが協議されています。

この活動は各国に共有されており、世界的に高齢化している社会の課題解決につながることが期待されます。

## 在宅訪問医療のパッケージを開発

ジーシーは、高齢者の健康をサポートする在宅訪問医療にも積極的に取り組んでいます。経済産業省の委託事業として、日本歯科医師会・日本歯科医学会・日本歯科商工協会のオールジャパン体制(歯科界全体)で開発を進めてきた「在宅訪問歯科診療専用ポータブル器材パッケージDENTAPAC KOKORO(デンタパックココロ)」を、2014

年に完成・発売しました。

その他、高齢者専用の口腔ケアブラシ「プラティカ」シリーズを発売するとともに、訪問診療時に必要とされる材料をシステムキットとしてまとめるなど、日本発の健康長寿社会のモデルづくりを通して「健康寿命」の延伸に貢献しています。

# 災害への対応

大地震や台風、洪水などが頻発する中、ジーシーグループは災害に際しても事業を継続し、被災された方々を支援するためのさまざまな備えを行っています。

## BCPへの取り組み

自然災害、大火災などの緊急時に、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業を継続あるいは早期復旧させるためには、事前の計画書策定が非常に重要です。東日本大震災を機に、ジーシーでは防災対応マニュアル(BCP)を再度見直しており、業界のトップメーカーとしての供給責任を果たすべく、事業継続へのリスク回避を取り組んでいます。

## 自家発電機の設置

主力製品の生産拠点である富士小山工場では大型の自家発電機を導入しています。これにより停電発生時も、国内だけでなく世界中に歯科用セメントなどを安定供給できるようになりました。また、電力需給の逼迫に備えて一日平均9時間稼働とし、東京電力からの受電を低く抑えることができました。最大出力は1,005kWで、小山工場の総電力の76%をカバーします。

## 配送での緊急事態対応

ジーシーでは、当初から緊急事態を想定して、東(静岡県)、西(滋賀県)に配送センターを設けています。台風や地震による被害や停電などで、東西どちらかの配送センターが出荷不能に陥った際にも、一方の配送センターから無事に製品をお届けすることができます。

## 熊本地震への対応

2016年4月14日、16日の2度にわたって最大震度7を記録した熊本地震に対し、ジーシーグループはいち早い復興支援活動を行いました。

### [ 支援物資の提供 ]

地震により物流が大きな影響を受ける中、ジーシーは九州に配送ルートがある西日本配送センターから、避難生活で最初に必要となる歯ブラシなどの支援物資をいち早く被災地にお届けしました。熊本地震では、余震が続く中、車内泊やテント泊を続けられる方も多く、ジーシーの活動が避難生活をしている方々の健康維持に役立ちました。

### [ 義援金の寄付 ]

2016年9月9日(金)に、当時常務取締役である吉田誠治が日本赤十字社(東京都港区)を訪問し、ジーシー及びグループ会社より集めた熊本地震災害義援金合計2,169,518円を寄附させていただきました。義援金は日本赤十字社から義援金配分委員会に全額送金され、被災された方に届けられます。皆様の一日も早い日常生活の復興を心よりお祈り申し上げます。



## パートナーの皆様とともに

歯科医療関係者の皆様に製品の正確な情報を伝えたり、  
製品に対する生の声を聞いて次の製品開発に活かすために、  
特約店や代理店などのパートナーの皆様との連携を大切にしています。

### パートナーへの専門教育サポート

#### [ジーシー独自のデンタルカレッジ]

特約店デンタルカレッジでは、若手社員の方々に歯科知識や製品の使用方法についての見識を深めていただくため、製品の基礎知識を学ぶ講座を全国各地で毎年開催しています。また、代理店デンタルカレッジでは、東京と大阪の2カ所で開催。臨床家の先生による歯科材料の特性の勉強や、外部講師による販売の実践的な講習を実施しています。ジーシーでは、デンタルカレッジを通じて、パートナーの皆様に正しい医療技術や詳しい製品情報を伝えながら、お客様一人ひとりの声のフィードバックをお願いしています。



セミナーの様子

### 技術情報の提供

#### [特約店技術講習会]

高性能、高機能化している歯科医療機器を安心・安全・有効にお使いいただくため、より迅速で的確なサービスの提供をめざし、特約店向け技術講習会を開催しています。2022年度は8回開催し、33名が受講しました。

#### [パートナー向け専門サイト「Greenページ」]

ジーシー製品を安全に使うための適切な手順や使用方法などをわかりやすく紹介しています。新製品や製品販売中止などタイムリーな話題を素早く発信することができると喜ばれています。

### 物流システムの改善活動

物流システムについて、全国のパートナーから客観的な評価をいただくため、物流システムに関する満足度調査を定期的に実施しています。配送トラブル、荷造梱包など8項目の個別評価と総合的な評価を調査しています。調査で浮かび上がった改善要望を的確に解決するために、運送会社やシステム機器メーカーなどの物流協力企業とジーシーが協業して、多様化するお客様ニーズに応え、満足度の向上を図っています。海外ジーシーグループ会社の物流部門でも同様の調査対応をしています。  
また、海外における関係法令を含め、改正薬事法、個人情報保護法など市場環境の変化にも迅速に対応できるグローバルな物流システムの構築をめざしています。

### VOICE

ジーシーの社員の行動にも  
学びたい。

株式会社UKデンタル  
慶田 隆会長



ジーシーには、社内に限らず、社外のわれわれディーラーの社員教育にもとても協力していただいており、ありがとうございます。また、ジーシーの営業の方々が数字の目標だけでなく、行動目標を立てて、それにチャレンジしておられる姿はとても参考になります。数字だけでなく行動そのものの改善をうながし、人材を育成されようとしていることはとても良いことだと思います。QOLの大切さがマスコミなどでも取り上げられるようになってきた昨今、ジーシーにはQOLの高い健康長寿社会を実現するための活動を期待しています。

# サプライヤーの皆様とともに

ジーシーは、歯科医療従事者様への安全・安心な製品の提供と生活者の皆様の口腔保健の向上のため、サプライヤーとともに安全性・有効性に優れた製品の供給を推進していきます。

## サプライヤーとのコミュニケーション

ジーシーでは、原料・資材の調達や製品購買におけるサプライヤーの皆様と良好な関係を構築するため、次のような基本的な考え方にもとづいて取引を進めています。

サプライヤーとジーシーは対等な関係のもとで情報を共有して意思決定に参画し、特性や能力を活かした役割分担で共通の目的および目標を達成するため協業すること

またジーシーはお客様満足の向上のため、必要な製品を必要な時に必要な数量、確実にお届けする仕組みを運用して、ビジネスプロセスの全体最適をめざした事業活動を行っています。今後は、よりグローバルな視点でのサプライチェーンマネジメントの確立に向け、事業活動のスピードアップを進めています。

国内を中心に、より環境負荷の少ない原料や資材への切り替えを図る「グリーン調達」や「サプライヤー評価制度」によるCO<sub>2</sub>削減状況の定期的再評価なども行っています。こうした活動はグローバルに進んでおり、GCヨーロッパでは「ISO14001」認証取得サプライヤーを優先的に選択し、専用のアンケートを用いた通常監査でサプライヤーのCSR面を評価・報告しています。

ジーシーは、歯科医療従事者様への安全・安心な製品の提供と生活者の皆様の口腔保健の向上のため、サプライヤーとともに安全性・有効性に優れた製品の供給を推進していきます。サプライヤーの皆様とは、継続かつ定期的に双方向の提案活動を行い、市場環境の変化に即応した協業体制の確立を図っています。品質確保の面においてもサプライヤーとの良好な関係が重要と考え、ジーシーではQAパートナー活動を行っています。サプライヤーの工場を訪問し、互いに工程を見ながら意見交換することで、よりよい品質を協力してつくりあげています。

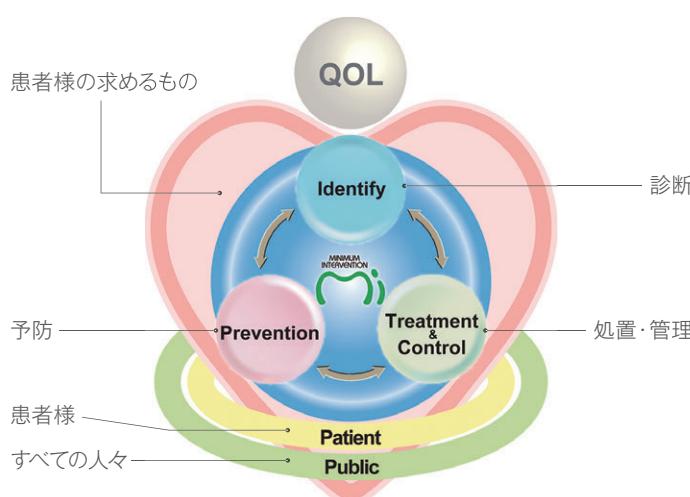


サプライヤーの工場訪問の様子

## 生活者への啓発活動

ジーシーは、生活者の皆様の口腔健康を支えるため、歯科医療従事者へのさまざまな情報提供および製品・システムの提供などにより、「生きる力を支える医療としての歯科医療」の発展に寄与しています。また、生活者の皆様の関心が高いう蝕や歯周病、口臭、お子様・高齢者の口腔ケアなどについて、情報提供に努めています。

### すべての人々のQOL向上のために



ジーシーでは、1999年にFDIが提唱した『Minimal Intervention(最小の侵襲)』の概念を、日本の臨床現場で使いやすいよう「診断」「予防」「処置・管理」の3つのアプローチから展開する、独自のMIコンセプトとして2000年に提唱し、さまざまな角度から製品および情報の展開を行ってきました。その結果、MIコンセプトはう蝕の理想的な治療プログラムとして歯科界で認識されつつあります。

ジーシーでは、すべての人々のQOLの維持・向上を目指し、MI関連製品の開発や情報提供を行っています。

### 歯と健康のための情報提供

#### [歯とお口の健康情報サイト]

国民の皆様に、歯とお口の健康を守るために知りたい情報を提供。さまざまなお口の悩みにお答えするコンテンツを掲載しています。



「歯とお口の健康情報サイト」  
<https://www.gc.dental/japan/education/public>

## 笑顔満開! 歯科業界初のお笑いコンテスト

2022年4月17日に東京国際フォーラムにて、歯科業界初のお笑いコンテスト「歯-1グランプリ(はーわんグランプリ)」を開催しました。歯-1グランプリのコンセプトは“歯をテーマにしたお笑いイベントで口腔健康にさらなる興味を”。ダチョウ倶楽部さんが総合司会を務め、25組の芸人が歯をテーマとしたお笑いネタで、優勝賞金をかけて競いました。このイベントは、シンポジウム参加者以外も観覧でき、大勢の観客が詰めかけ、にぎわいを見せました。



## [ ブラッシング教室 ]

ジーーでは、地域の歯科医師会と協力して、クリーンフェアなどの市民イベントへの参加、学校や企業へ出向いてのブラッシング教室などを定期的に行ってています。



## 海外での啓発活動

**ソーシャルメディアを使って情報提供(GCヨーロッパ)**  
GCヨーロッパでは、生活者とのコミュニケーションのために、ウェブサイトやTwitterやFacebookなどのソーシャルメディア、ウェビナーといったデジタル媒体を積極的に活用しています。製品情報や技術情報に加え、歯の健康のための情報を提供し、ステークホルダーのニーズに応えています。ユーザーの声を記載するGET Connected Eニュースレターでは、Facebookに寄せられた「いいね」の数やTwitterのフォロワー数、閲覧者数などを掲載しており、着実な成果があがっています。

GC EuropeさんがMeyer Jeanさんの投稿をシェアしました。  
10月20日 22:11 ·

Meyer JeanさんはGabriel Bourdeaud'huiさん、他2人と一緒にです。  
10月19日 12:46 ·

A little trick for dentist . if you want to do a temp on implant for immediat loading by yourself you can use what you use every day in your office , not perfect but easy

いいね！ コメントする  
7人

## 中学生向けの歯科研修活動の開催(GC蘇州)

GC蘇州では、社会の一員として口腔保健の向上に貢献するために、2011年より毎年幼稚園、小学校や住宅団地でのブラッシングの指導を行っています。活動の輪を更に拡大し、中学生の口腔健康意識を向上させることと今後の歯科業界選択に役立つために、2022年より、2月と8月に1回ずつ蘇州工業園区外資企業投資協会と連携し、中学生向けの冬休みと夏休み歯科研修活動を企画・実施しました。活動の内容として工場見学、虫歯になる原因&ブラッシング方法の教育、歯の模型製作指導などを準備しました。活動後、学生達から「今回の活動で教科書以外の歯科知識を学び、視野を広がることができた。もっと勉強したい！」などの好評を得ました。次世代の歯科医師が誕生するかも！今後、GCはさらに口腔保健の向上へ貢献し、地方の口腔健康意識の向上に努めてまいります。



中学生向けの研修活動の実施風景(1)



中学生向けの研修活動の実施風景(2)

# 環境マネジメント

ジーシーは、ガイア(地球生命圏)との共生を大切にし、社員全員が「環境方針」をよく理解して地球環境への配慮に努めています。製品の製造工程から使用段階での環境負荷を考慮したクリーンなもののづくり、オフィス・工場での環境活動の徹底などに、積極的に取り組んでいます。

## 環境方針と解説

1997年に「環境方針」を制定し、本格的な環境管理活動をスタートさせました。2005年4月には「環境方針」の解説を作成し、「なかま」が具体的に何をすべきかを明確にしました。

株式会社ジーシーは、歯科医療を通じて健康を提供する企業として、自然環境との調和及び地域社会との共生を大切にし、環境管理活動を推進することを重要課題の一つとして掲げ、下記の事項を定める。

### 1. 事業活動を通じて、環境に配慮した製品の創出、省資源・省エネルギーの推進、廃棄物の削減を行ない、健全な環境の維持・向上に努める。

解説: リサイクル・リユース・リデュース・バイオマス等を意識した環境影響低減の製品開発、資源・エネルギー(電気・水道・ガス・重油等)の節約・再資源化、再生資源利用等を推進し、環境影響評価に基づく事業活動全体での省資源・省エネルギーに努めます。

### 2. 環境に関する法規制、及び組織が同意するその他の要求事項を遵守する。

解説: 環境に関する法基準・法規制や自治体との協定、地域や業界団体などからの要求事項を最低限の遵守事項とします。

### 3. 環境目的・目標を定め、その実現を図る努力をし、年に一度環境方針と共に見直すことにより、環境管理体制の継続的改善を推進する。

解説: 目標達成の施策を明確にし、各種監査等の実施により、環境保全・製品の環境影響の低減に関するマネジメントシステムの一層の改善・強化を図ります。また、年度末に開催する経営者による見直し会議で環境方針と全てのマネジメントシステムの妥当性を確認します。

### 4. 通常時はもちろん、異常時及び事故等の緊急時においても、地域社会に迷惑をかけないように汚染の予防を図る。

解説: 地域環境への悪影響の発生もしくは発生の懸念または製品使用における事故等の問題が発生した場合は、誠意をもって迅速かつ適切な解決を図るとともに、徹底してその再発防止に努めます。また、普段より緊急時の訓練を行い、その手順を明確にし、社内に周知徹底させます。

### 5. 全社員が環境に対する基本的な考え方を認識し、環境方針に沿った行動を行なうように、教育を行なう。

解説: 環境保全・製品の環境影響に関して組織のために働く全ての人々に対し教育計画の下に教育を行い、その意識を高めるとともに環境方針に沿った行動を促します。

### 6. 環境方針は、カード等を通じて一般の人が入手可能なものとする。

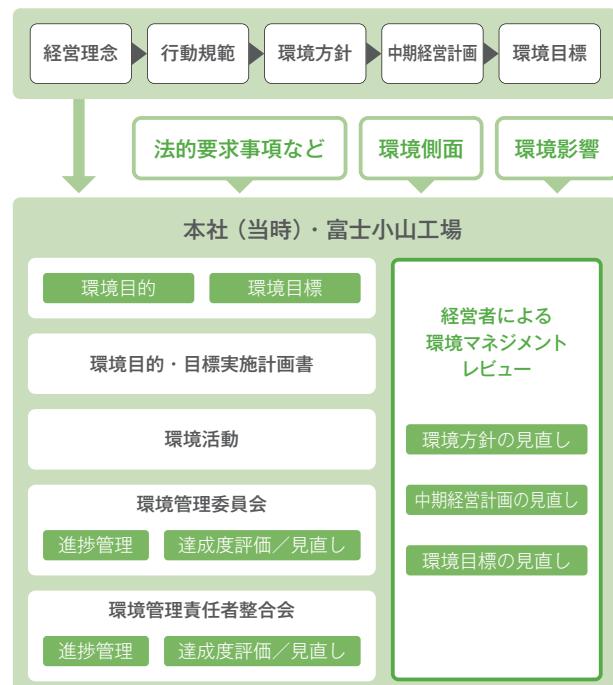
解説: 環境方針カードの配布、ホームページの活用により、環境管理活動に関する情報を積極的に社内外に公開し、その評価を活動に活かします。

## 環境マネジメントシステム

「環境方針」にもとづいて策定した中期経営計画を踏まえ、各事業所においてもそれぞれに目標を策定し、具体策を検討して環境負荷の低減に取り組んでいます。実施状況は「環境管理委員会」や内部環境監査で確認し、監査結果は「経営者による見直し会議」等で報告され、必要に応じた見直しを行い、次年度以降の活動に反映させていただきます。

こうした一連のサイクルを継続的に進めていくことで、システムの完成度を増し、目標の達成度をさらに高めていきます。

### 環境マネジメントの概念図

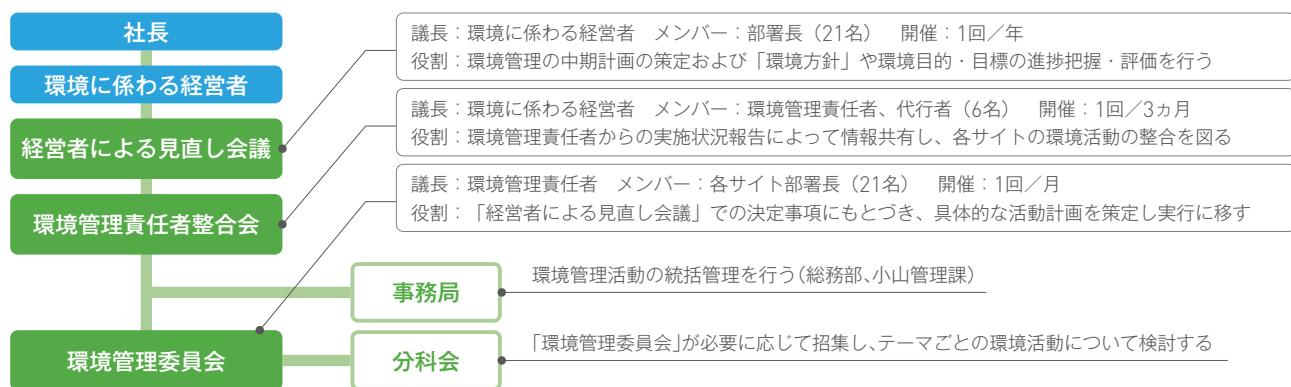


## 環境管理推進体制と社員への環境教育

「環境方針」にもとづき、各サイトが一丸となって環境管理活動を推進していくために、社内横断的な組織として「経営者による見直し会議」「環境管理責任者整合会」「環境管理委員会」を設置するなど、組織体制を整備しています。

また、環境マネジメントの運用は、「なかま」一人ひとりの改善意識と積極的な行動なしには成り立ちません。システムの維持・向上と継続的に環境管理活動を推進していくため、ジーシーでは社員に対する環境教育に力を入れています。

### 推進体制図(組織と役割)



### 環境教育の主な内容

#### 環境方針の徹底

- 環境方針の唱和(創立記念日、KI活動発表大会、月1回の朝・昼礼会、各部署朝礼会など)
- 個人の環境目標の設定

#### 行動規範の徹底

- 「ジーシー行動規範」の「3. 地球環境に優しい製品の創出とサービス活動を通じ、環境保全に貢献します。」に沿った自覚ある行動を促す

#### 環境教育体系の整備

#### 環境関連の資格取得奨励

- 法的に必要な資格はもちろんのこと、社内の基準で認定する社内資格の取得も積極的に奨励
- 内部環境監査の質を向上させるため、監査員教育を継続的に実施

#### 環境情報の共有化

- 各資格者の掲示
- 社内 LAN を利用したデータベース「環境フォーラム」での情報共有
- エコインフォメーションセンターの設置や地球環境問題のビデオ上映
- エコフェア(ジーシーデンタルプロダクツ)の開催



エコフェア

## ISO14001認証取得状況

本社・富士小山工場は、1998年11月に国内の歯科業界で初めて「ISO14001」認証を取得しました。その後、グループ会社の(株)ジーシーデンタルプロダクツが2000年12月、(株)ジーシーアサヒが2008年8月、大成歯科工業(株)が2009年12月に認証を取得しています。海外においてはGCヨーロッパが2005年9月、GC蘇州が2018年10月、GCアメリカが2019年4月に認証を取得しています。



# 地球温暖化防止への取り組み

ジーシーでは地球温暖化防止に向けて、環境マネジメントシステムを展開しながら事業活動から生じるCO<sub>2</sub>排出量の削減に積極的に取り組んでいます。生産時の省エネ・省資源化、包材軽量化、製品使用時の省エネ・省資源化、廃棄方法など製品に関わる各段階での資源・環境への影響を検証し、最小限にとどめるよう配慮しています。

## CO<sub>2</sub>削減の取り組み

ジーシーでは、地球温暖化防止のためCO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでいます。主要排出源であるエネルギー消費量の削減計画と連動し、中期の環境目的(2025年までに対2022年比4%削減)に沿った活動を推進しています。

### [オフィスでの取り組み]

省エネタイプの照明の使用や、空調設定温度の調整、離席時のパソコンやモニターの電源OFFの徹底などにより電力消費を抑えています。

さらに、COOL BIZ運動や社用車のハイブリッド車への切り替え、グリーン購入などによるCO<sub>2</sub>排出量削減も進めています。

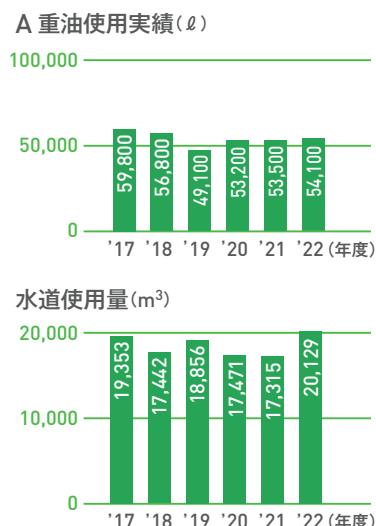
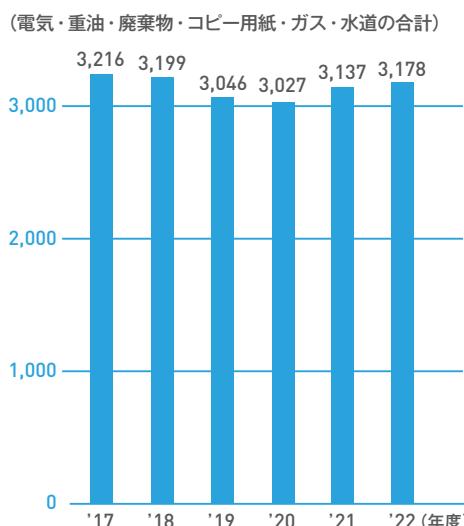
### [小山工場LED化の推進]

富士小山工場では、工場操業から40年間、街灯照明は消費電力の大きい水銀灯を使用していましたが、消費電力削減のために、2015年10月から2016年2月にかけてLED化を進めました。街灯40本をすべてLED化することで、街灯の消費電力を95%もダウンさせることができました。街灯2基にLEDソーラー灯を採用し歩道などの誘導灯にもLEDソーラー灯を採用し消費電力の低減活動を継続しています。なお、2021年5月に東日本配送センター内のLED化を実施することにより、富士小山工場全てのLED化を完了しました。

## クリーンな輸送(モーダルシフト)

ジーシーでは、トラック輸送よりもCO<sub>2</sub>の排出量の少ない鉄道や船舶への輸送手段の転換を図っています。デンタルユニットなどの大型製品は北海道・九州・北東北と中国方面の一部地域で貨物列車輸送を行い、材料製品は北海道方面で、貨物列車と船舶による輸送を実施しています。

### トータルエネルギーCO<sub>2</sub>排出量(t)



### モーダルシフトにより期待される効果

- 壓素酸化物などの排気ガスによる大気汚染の削減
- CO<sub>2</sub>排出量の削減による地球温暖化防止
- 少子高齢化による労働力不足の緩和
- 交通渋滞の緩和
- 省エネエネルギー

# 廃棄物の削減とリサイクル

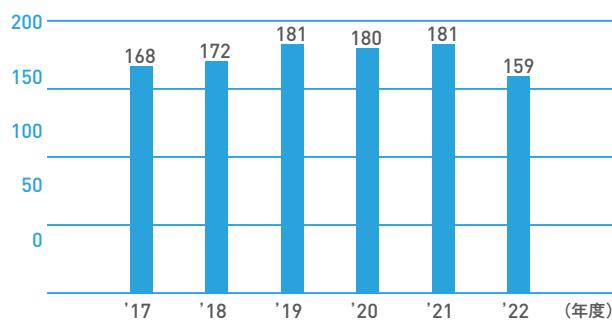
ジーシーグループでは、2007年にゼロエミッション工場を達成した富士小山工場を中心に、グループ全体でのゼロエミッションをめざしていきます。また、ジーシー独自の評価基準にもとづき職場の環境管理活動を審査する制度を導入し、オフィスの環境改善も図っています。

## 工場での廃棄物削減

富士小山工場では、2007年にゼロエミッション工場を達成し、現在までそれを維持しています。富士小山工場の廃棄物は100%リサイクル化が完了しておりますが、その中で2022年度は可燃ゴミ(サーマルリサイクル)として焼却されていた紙ゴミを分別して回収し、環境負荷の少ないマテリアルへ変更しました。今後は、ジーシーグループで廃棄に困っているゴミを富士小山工場で引き受けるなど、グループ全体でのゴミゼロエミッションをめざします。

また、製造工程では歩留まりの向上、廃棄物の削減を積極的に行い、環境負荷低減のための改善を実施しています。特に、「からくり改善」と称した環境負荷のかからない工夫をした工程づくりを心がけています。

廃棄物量 (m<sup>3</sup>)



## VOICE

### オフィスでの環境配慮活動

環境保全意識の醸成・浸透のため、さまざまな活動を行っています。

総務部  
環境安全管理課  
下田 万尋



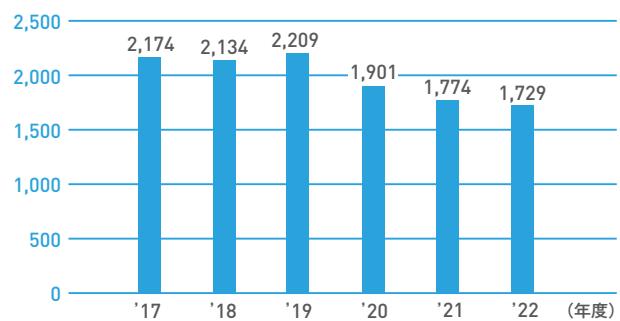
私の所属する総務部 環境安全管理課は、本郷・板橋サイトの事務局部署として、ISO14001に基づく環境管理活動を推進しています。定期的に開催される環境管理委員会で環境保全

## オフィスでの廃棄物削減

ジーシーでは、環境管理活動が総合的に優れ、一定基準をクリアしたセクションを「環境オフィス制度認定セクション」として社内資格認定をしています。2001年より、結果系、要因系からなるジーシー独自の評価基準に基づき審査するこの制度を導入し、現在51セクションが認定されています。

この活動により、廃棄物やコピー用紙の削減、省エネなど、オフィス環境の改善が図れるようになりました。

コピー用紙購入枚数 (千枚)



意識の醸成・浸透のため、各施設のCO<sub>2</sub>排出量や電気使用量、職場毎の廃棄物量等を発信しています。また地道な活動として、ゴミの分別徹底のために朝礼会など社員が集まる場で呼びかけたり、分別内容がわかりやすい表を作成・配布してゴミ捨て場に掲示したり、正しく分別することで資源として再利用できるゴミがあることなどを啓発したりしています。一人ひとりの心がけが環境配慮につながることをさらに浸透させ、行動に結びつくようこれからも頑張っていきたいと思います。

## 製品・サービスを通じた環境への貢献

社会全体に地球環境の保全に配慮した活動が求められる中、ジーシーでは歯科医療に関わる製品・サービスを通じて地球環境への負荷を低減するグリーン・デンティストリーを推進しています。また、3R(リデュース、リユース、リサイクル)やバイオマスに配慮して、地球環境への負荷をできるだけ小さくした製品づくりを行っています。

### グリーン・デンティストリーへの取り組み

グリーン・デンティストリーとは、歯科の業務による地球環境への影響を抑え、患者様の健康的な生活の維持を支援する、FDI(国際歯科連盟)が提唱する考え方です。ジーシーはグリーン・デンティストリーの4つの指針を実践し、先端的な技術や製品開発、サービスに活かしています。

#### [ グリーン・デンティストリーの4つの指針と活動 ]

##### ① 廃棄物と汚染の削減

使い捨て保護材類の削減や、水銀を含む歯科材料、鉛を含むフィルム・定着液を使用する従来型X線システムからの切り替えなど、CO<sub>2</sub>排出量や廃棄物の削減と環境汚染につながる物質の削減に努めます。

##### ジーシーの活動

- 水銀を含むアマルガム充填材の代替品として「EQUIA (エクイア)」を世界展開しており、“水銀を使わない生体材料”を採用する動きを拡大しています。
- 歯科医療に欠かせないX線画像への、デジタル方式の導入を促進。廃棄物が大幅に減少するとともに、業務効率の向上によりCO<sub>2</sub>削減に結びついています。



##### ② 水とエネルギーの削減

ブラッシング時の流しちゃなしの水や製造工程の見直しなどによる節水に努めます。節電を推進し、エネルギー使用量を削減します。

##### ジーシーの活動

- 製品開発の全工程を評価するデザインレビュー(DR)の重要なポイントとして、独自の指標である「エコインデックス(環境負荷指数)」を設定し、地球環境への影響を抑える製品づくりに反映しています。

##### ③ 先端技術の導入

デジタルX線システムや蒸気滅菌、CAD/CAMなど、患者様の健康維持と地球環境の保全に役立つ先端技術の開発と導入を進めます。

##### ジーシーの活動

- 従来の金属製口腔内修復物の代わりに、強度と安全性を有した特殊なファイバーなどの新素材を用いることにより、使用材料削減とCO<sub>2</sub>削減を実現するシステムを開発しました。
- あらゆる被滅菌物を滅菌する「バキュクレープ31B+」を発売。これまで難しかった完璧な滅菌と、EOGなどの廃棄物ゼロを実現しています。



##### ④ 健康的なライフスタイルの支援

個人レベルと全世界の健康価値をともに考える歯科専門家の育成を支援します。地球環境にやさしく、長期的な健康と美を求めるライフスタイルを支援します。

##### ジーシーの活動

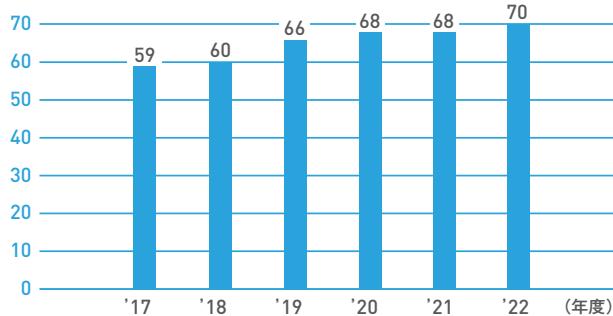
- 文京区・本郷のGC Corporate Centerの半分を歯科医療従事者向けのスペースとし、これまでにはない形での専門情報を届けています。
- 海外においては、2008年に完成したGCヨーロッパの研修センター・GC ヨーロッパ キャンパスでさまざまなセミナーを開催し、18,408名を超える歯科医療従事者が受講しました。

## 環境配慮製品の開発

新製品開発において、製品アセスメントにより製品の原料調達～製造～ユーザー使用～廃棄までのCO<sub>2</sub>排出量を評価し、環境に優しい製品づくりに努めています。また、歯科医院や歯科技工所、訪問診療における訪問先(各ご家庭)での作業環境を改善する製品づくり、廃棄物をできるだけ出さない包装材料の採用や、容器の使い勝手への配慮などにも積極的に取り組んでいます。

ジーシーでは今後も、包装容器におけるアプローチ以外に、材料そのものや、設備の入れ替えなど製造工程における環境改善のアプローチなども積極的に行い、全社的な活動として積極的に取り組んでいます。

環境に配慮した製品創出数(件)



2022年度の環境配慮製品一覧(主な製品)

製品名	削減内容
スリムライト	包材の減量化・減容化、既存製品と比較し、容量・質量の低減
ジーシーフィットチェックONE	採取ノズルの減量化・減容化
ジーシーキャビトンファスト	包材の減量化・減容化
Dry Mouth Gel	包材の減量化・減容化
中国エグザミックスファイン(精彩)	ミキシングチップの見直しによる、ユーザー廃棄の削減
グレースフィルゼロフローユニバーサル	組成変更により原料のCO <sub>2</sub> 排出量を削減
フジルーティングEX	組成変更により原料のCO <sub>2</sub> 排出量を削減
ジーシーキャビトンファスト	組成変更により原料のCO <sub>2</sub> 排出量を削減
セラスマートプライムHT色	組成変更により原料のCO <sub>2</sub> 排出量を削減
セラスマート300HT色	組成変更により原料のCO <sub>2</sub> 排出量を削減
セラスマートレイヤー 12サイズ	組成変更により原料のCO <sub>2</sub> 排出量を削減
サイトランスグラニュールLサイズ	添付文書廃止
ティオンホームプラチナ	添付文書廃止
フジルーティングEX	添付文書廃止
ユニフィルコアEM	添付文書廃止
ジーセムONE	添付文書廃止
セラスマートレイヤー	添付文書廃止
ユニフィルローフロープラス	添付文書廃止
マイジンガーQXカーバイドバー	添付文書廃止
フィクスチャーanalogue IN Plus	既存製品に比べ、ユーザー使用時を含めCO <sub>2</sub> 排出量を削減
サーボカルボックス(改良)	ユーザー使用時の廃棄量を削減
MxIIplusモーター	既存製品に比べ、減量化・減容化
オペレーティングツールOS-IV	既存製品に比べ、減量化・減容化
GC ORTHO CHAIN	包装資材について廃棄量の少ない包材を採用

## VOICE

ユーザビリティにも配慮した、環境志向の容器開発を行っています。

研究所  
機能包材開発(取材当時)  
鈴木 巧



ジーシーでは、材料開発とともに容器の開発も行っています。容器の開発にあたっては、保存性能・使い勝手・デザインはもちろん、廃棄される際の環境負荷低減にも配慮し、品質の追求による過剰包装を起こさないよう、適正な包装を常に意識しています。

その取り組みの一環として今回、従来製品「ニューメタルストリップス」のケースの設計を抜本的に見直し、使い勝手の向上のみならず、樹脂の使用容量の大幅削減、および塩化ビニルフリーを達成しました。今後も品質の追求とともに、環境に配慮した製品開発を進めていきます。

### 環境配慮製品の例

#### 省資源化 紙函の設計を簡素化し、紙使用量を削減

国内販売向けの歯科用インプラント製品「スクリューインプラント Re 減菌コンポーネント」の従来の紙函は、蓋に相当する部分が二重になっており、過剰包装との声も聞かれました。そこで、包装としての保護、表示機能を維持しつつ、函の設計を簡素化することで紙の使用重量を1函あたり10.23gから6.97gに削減しました。CO<sub>2</sub>排出量に換算すると、102CO<sub>2</sub>-gから70CO<sub>2</sub>-gとなり、約30%のCO<sub>2</sub>排出量削減となりました。



#### 省エネ LEDライトの導入

機械製品では、以前より研究を重ねてきた高出力LED応用技術を活かし、省電力化や長寿命化を実現しています。製品でいえば、歯科用ユニットのオペレーティングライトや、材料製品のポテンシャルを引き出すためのハンディタイプ光照射器「G ライトプリマⅡ Plus」、ホワイトニングライト「コスマブルー」などがあります。



#### 省資源化 液体材利用のボトル開発

歯科技工用材料のリン酸亜鉛系埋没材である「イノベスト MP液用」のボトルは、従来500m lの包装仕様でしたが、液を增量して2l仕様とすることで1lあたりの包装資材の使用量を削減しました。

また、ボトル容器には取手付の減容ボトルを採用。使用後にボトルを容易に潰すことができる所以、包装資材の廃棄容量を削減することができます。



#### 作業環境の改善 入れ歯修理時の防塵ボックス

歯科医療従事者が高齢者ご家庭を訪問して、入れ歯(義歯)修理を行う際に使用する作業用の透明ボックスです。専用の切削工具で樹脂を削ったり磨いたりするため、粉塵が飛び散って周囲を汚してしまうという問題を解決しました。

#### [製品の特長]

- ボックスの前面は斜面で視野が広く、修理作業がしやすい
- 薄いプラスチックシートでできており、使用前は折り畳まれているのでとても軽く、持ち運びも大変容易
- 作業終了時にはボックスを簡単に潰してゴミを小さくすることができ、訪問先での片付けも容易



# グループの環境活動

ジーシーグループ各社では、それぞれ環境負荷低減のための施策として、事業活動における取り組みやオフィスでの対策を行っています。今後もジーシーグループは、環境改善活動を進めるとともに、地域社会との共生を図っていきます。

## 各社の施策【事業活動】

### (株)ジーシーデンタルプロダクツ

【歯科材料および関連器具の製造・販売】

2000年12月にISO14001の認証を取得し、3年に一度の更新審査を受けながら環境改善活動を進めています。

- ①排出CO<sub>2</sub>の削減及び省エネ活動として計画的な照明のLED化の推進、エアコンのムダ稼働の撲滅活動の実施を進めています。
- ②廃プラ削減活動として使用資材のマテリアルリサイクル化を実現により1.6tの廃プラ削減することができました。
- ③緑化・美化・地域貢献活動としては、敷地外近隣の清掃活動の実施をおこない、地域美化活動にも取り組んでおります。

### (株)デンタルダイヤモンド社

【歯科に関する出版物の刊行】

#### ①著者校正におけるPDFの活用

**活動の目的:**OA用紙の削減と著者校正の効率化

**活動内容と状況:**従来の校正紙による校正に代わり、インターネットのストレージ機能等を活用したPDFによる校正作業を行っています。

#### ②DTP・CTPによる印刷工程の簡略化

**活動の目的:**産業廃棄物の産出防止と印刷工程の簡略化

**活動内容と状況:**印刷工程をデータ化し、刷版をCTP(Computer to Plate)システムとすることで、従来発生していたフィルムや印画紙、現像液が不要となり、環境負荷の低減に繋げています。

#### ③印刷用ベジタブルインキを使用

**活動の目的:**印刷用ベジタブルインキにより環境負荷低減に寄与

ベジタブルインキは植物油インキとも呼ばれ、再生産可能及びそれを主体とした廃食用油等をリサイクルした再生油です。植物油インキを使用することで環境に配慮しています。

#### ④印刷用紙の低減

**活動の目的:**紙使用量の削減

**活動内容と状況:**出版物印刷時における部数の適正化を行い、廃棄する印刷物の削減に努めています。

## 各社の施策【オフィス】

### 大成歯科工業(株)

【歯科材料の製造】

使用エネルギーCO<sub>2</sub>換算5%削減(2015年度比、2023年度目標)をめざして活動しています。また、周辺道路を清掃するクリーンロード作戦を、毎年2回(春季/秋季)実施し、周辺環境の美化に努めています。

#### ①環境にやさしいエコ製品の創出

簡易包装によるムダを排除した製品の開発を行っています。

#### ②節電アクションの実施

歩留率向上活動による電気料の削減などの改善活動により、電気使用量の削減を行っています。

#### ③エコ機器への更新

コピー機、LED、パソコン、エアコンなどエネルギー効率のよい設備への更新を図っています。

### (株)日本歯科商社

【歯科材料の輸入および卸・販売】

2008年度より、電気使用量の削減に取り組んでいます。2011年からは国の方針に則り、15%削減を達成するため多くの対策を講じています。

#### ①エアコンの最新機種への入れ替え

段階的に最新機種のエアコンへの入れ替えを進め、日本テクノの電力監視サービスの目標デマンドを従来から34%ダウンの44kWhまで削減。拠点大阪・九州で最新機種に入れ替え実施。

#### ②エアコン28℃設定を徹底

セキュレーター、扇風機との併用

#### ③エレベーターによる人の移動は極力階段利用へ

#### ④全社計画的照明配置とLEDへ変更促進

#### ⑤西側窓への断熱フィルム貼付とブラインドの使用

## 海外グループ企業の環境活動

### GCアメリカ

GCアメリカは、3つの拠点で一つの「小規模生産者」に指定されており、すべての有害廃棄物は、一ヵ所の生産施設に集約されています。毎月排出される危険廃棄物は約25ガロンで、資源保護回収法(RCRA)では「少量排出事業者」に分類されています。廃棄物の処理は認可廃棄物管理、再利用や処理業者に依頼しています。

### GCヨーロッパ

GCヨーロッパは、公害防止及び環境保護方針に従って、あらゆる事業プロセスにおいて環境保護を目標としています。めざすのは、自然や地球環境との共生の実現です。事業活動全般と自社製品のライフサイクル全体においてCO<sub>2</sub>やその他の温室効果ガスを最小化することで、環境フットプリントを最小限に抑えることに尽力しています。また、環境および健康問題の防止と廃棄物の可能な限りの削減にも努めています。

### GCコリア

GCコリアでは、期限切れ5年以上を経過した製品を廃棄物とし、廃棄対象期限の事前アラーム管理により適正な処理と廃棄物削減を図っています。また、ガラス、ナイロン、ポリエチレンなどを成分とする包材の製品の輸入量に応じた負担金を支払うことで、韓国政府の環境保全政策に貢献しています。

### 【事業を通したCO<sub>2</sub>の削減】

ベルギーのルーベン市の立てた、2030年までにCO<sub>2</sub>排出量ゼロをめざす削減計画において、GC ヨーロッパはCO<sub>2</sub>削減活動のペースメーカー的役割を担っています。その一環として、ルーベン商工会議所とのやり取りを経て、ハースローデ工業団地内の他の事業者と輸送製品をまとめることで、輸送に使用するトラックの総台数を減らすプロジェクトを発足しました。プロジェクトをどの地域まで拡大するかについては現在検討中です。この他にも主に物流と生産活動に焦点を当てたCO<sub>2</sub>プロジェクト「ラーニング・ネットワークVOKA」の推進や、グリーン電力の活用、暖房システムの改善、環境効率の良いトラックの活用などの環境保護活動を展開しています。



### 【廃棄物の再利用】

GCヨーロッパは、あらゆる事業活動において発生する廃棄物を最大限削減することをめざしています。リサイクル可能な廃棄物の回収と、廃棄物からの資源の回収と再利用を目的とした廃棄物回収システムを設置。また、生産と物流においても、可能な限りのリユースやリサイクルによって梱包材や原材料などの資材のムダを最小限に抑える努力をしています。

## 地域社会との共生

(株)ジーシーデンタルプロダクツでは、緑化・美化・地域貢献活動として地域での清掃活動イベントに積極的に参加しています。会社が所在する愛知県春日井市および春日井防犯協会主催の花壇コンクールには、毎年応募し入選を果たしています。

また、ジーシーデンタルプロダクツの創業50周年記念事業として2010年6月に竣工したプロソリサーチセンター(新補綴研究所)は、地域社会との調和をめざした建物であるとともに、環境に優しい建築技法を取り入れています。今後も環境改善活動目標の達成をめざしつつ、地域社会との共生を図っていきます。



左:春日井クリーン大作戦(地域のゴミ拾いイベント)に参加  
右:総務部員が丹精を込めて育てている中庭の花壇

## 外部評価・表彰

### 愛知まちなみ建築賞受賞

プロソリサーチセンターは、環境省の2009年テーマと合致する“安らぎと新しいエネルギーを創出する空間”をコンセプトにした、金属製の釘を使わない千鳥格子の木造立体格子に包まれた解放感のある建物です。社員だけではなく、地域コミュニティの場としても開かれています。また、建設で使用した型枠を外壁の化粧としてそのまま残すことで、廃棄物の削減になるとともに断熱効果も期待できます。

これらの特長が認められ、2011年2月に愛知県主催の愛知まちなみ建築賞\*を受賞しました。各方面からの注目も大きく、2010年6月の竣工以来3,274名(2022年9月30日現在)の見学者がみました。

今後は新製品の開発だけでなく、咬合・咀嚼に関する国内外の最先端情報を収集するとともに、臨床家の先生方への情報発信基地としての機能を發揮し、これからの中高齢化社会における歯科補綴臨床の発展に役立つよう努力していきます。

### ※愛知まちなみ建築賞

愛知県が主催し、良好なまちなみ景観の形成や、潤いのあるまちづくりに寄与するなど、良好な地域環境の形成に貢献していると認められる建築物、または、まちなみを表彰するもの。18回目となる2011年は、応募総数146点から本センターを含む6点が受賞。



左:プロソリサーチセンター外観 木材を多用し、周囲の環境に威圧感を与えない設計になっています。  
右:展示室 歯科関係であることをアピールするオブジェ。その奥には伎芸天像。それらを木組み構造が包み込んでいます。



# 国内における地域貢献活動

ジーシーは、地域社会との共生を最も大切に考えています。

富士小山工場では、地元小山村との連携による活動、企業同士の交流である小山村企業懇話会活動、また密接に関係する中日向地区との交流やボランティア活動などを盛んに実施しています。

## 工場見学の受け入れ

富士小山工場では、主に歯科系学生などを対象として毎年工場見学を受け入れています。2022年度はコロナ禍ではありましたが、検温や健康状態のチェックを入念に行い、9組、102名の方にご見学いただきました。ジーシー製品がどのようにつくられているかを実際に見てもらうことで、高度な技術と製品品質のつくり込みへの理解を深め、さらにジーシーのファンづくりにもつなげていきたいと考えています。



新東京歯科衛生士学校の皆様

工場の案内役は社内から選抜されたメンバーが行い、見学者へ十分な説明ができるよう、自社製品についての知識を身につけたり、自ら説明用パンフレットを作成したりするなど、日々改善に努めています。また近隣の一般の方々へは、環境負荷低減に向けた取り組みへの理解を深めたり、歯や口腔への関心を高めたりしていただく機会を設けています。



日本医歯薬専門学校の皆様

## 工場周辺の清掃活動

富士小山工場では年2回(春と秋)、健康増進活動も合わせ、中日向地区と大御神地区の清掃活動を行っています。いずれも休日を利用して実施され、従業員だけではなく家族も参加しています。2022年5月28日(土)に第44回環境ボランティアも実施いたしました。参加者は社員とご家族を合わせて106名でした。今後も活動を継続するとともに、近接する棚頭工業団地とも協力して一斉清掃をするなど、地域とより密着した活動にしていきます。



工場周辺の清掃活動

## 地域と連携した活動

2013年に世界遺産に登録された富士山では、地域の団体などによる美化運動が盛んであり、ジーシーもこの運動に賛同し協力しています。夏山シーズンが終わる毎年8月末に行われる小山町企業懇話会主催の富士山清掃へ積極的に参加しているほか、新入社員小山研修のプログラムでも富士山清掃活動を実施しています。

また、ジーシーの歯科医療関係者向けWebサイトでは、富士小山工場から見える富士山の姿を10分ごとに写真にとらえて公開し、富士山の魅力を伝えています。

## 歯医者さん わくわく体験デー

ジーシーでは2011年以来、口腔健康の大切さを広く生活者の方々にお伝えする活動の一環で、8月に夏休みイベントとしてGC Corporate Centerにて地域の小学生親子を対象とした「歯医者さんわくわく体験デー」を開催しています。歯科医療を身近に感じていただくとともに、歯科の業務内容を正しく理解し、未来の歯科医療従事者になっていただくための啓発活動のひとつとして、ジーシーがお手伝いできることを考え実施するイベントです。歯科材料に触ったり、デンタルユニットの操作を体験することなどで、楽しみながら歯科治療の仕組みを学んでいただきました。

## [実施した歯科医療体験]

- シリコン印象材による指の型取り
- プロスペック歯ブラシにて歯磨き指導
- プラーカの酸產生能検査
- デジタルX線撮影装置、ユニット、タービンなどの見学
- バキューム操作



## 地元歯科医師会との連携

ジーシーでは、地元歯科医師会による社会貢献活動へのサポートを行っています。東京都文京区や板橋区では、毎年開催される「歯と口の健康づくり」や「すこやかシルバー8020」などのイベントにジーシーも参加し、記念品の提供や予防関連製品の展示説明などを行っています。またジーシー本社(GC Corporate Center)のある東京都文京区にある白山神社では、毎年6月に長い歴史のある「歯ブラシ供養」も行われており、こちらにも歯ブラシの提供などの協力をしています。



## VOICE

環境ボランティアで、自然も、心もきれいになります。

富士小山工場  
小山管理課  
久保井 優衣奈



富士小山工場では年2回環境ボランティア活動を実施しております、私はこの活動にできる限り参加しています。富士小山工場は山林や田んぼなど自然に囲まれた場所にありますが、道の脇には空き缶やコンビニの袋などが捨てられていることが多いです。近くには富士スピードウェイがあり観光客が大勢集まるため、人目の少ない道の脇などに捨てられるのでしょうか。環境ボランティアは約1時間ほどの活動ですが、日ごろ歩くことが少ない私には良い運動になり、ゴミも片付けられるため参加した後は心もきれいになった気分になります。今後も続けて参加していきたいです。

# 海外における地域貢献活動

ジーシーは、歯科医療製品を通じて、

世界中の人々に「生きる力を支える医療」をお届けすることをめざしています。

地球市民の口腔保健の向上のために、海外においてもより良い歯科医療環境が整うように、現地の社会とともにさまざまな支援活動を行っています。



左上:中国の四川大学付属華西口腔医院  
左下:チリでの学生実習支援

中央:ニカラグアにおける支援活動  
右:ドイツの新聞(健康保険適用)



教育支援活動

## 「中国 |予防/小児歯科普及に関する協力

急速に改善してきているとは言え、人口に対する歯科医師数が不足している中国においては、中華歯科医学会主導の下、国を挙げて予防歯科の普及に力を入れています。また、35年間続いた「一人っ子政策」により、少子高齢化が深刻な社会問題になりつつあり、子供への投資に競い合って支出する社会風潮があり、予防/小児歯科の重要性が増しています。

一方、世界第二位のGDPを牽引している富裕層むけの「審美修復」に関しては、デジタルデンティストリーの普及とともに世界レベルにありますが、予防/小児歯科の分野では、世界レベルとは言い難いのが現実です。

そこで、我々は「広西小児歯科聯盟」という、予防/小児歯科のレベルアップを目的とした勉強会に協賛する形で、2022年6月21日～22日と9月6日～7日の2回コースのお手伝いをしました。延べ75名の歯科医師の参加があり、予防/小児歯科において、重要な役割を担う歯科衛生士という制度がない中国において、効率よく診療できる製品の提案を行いました。先生方との交流を通して、この分野における情報不足を痛感し、今後も継続して教育支援を行っていくことをお約束しました。



#### 「ラテンアメリカ」歯科材料を活用した学生実習、学生指導

GCアメリカでは、“ACTDENT(Actualidades Dentales)”の名のもと、2007年から中・南米で計4回、学生向けにジーシーの歯科材料を活用した実習・学生指導を行っています。地元の開業医に講師として無償で協力いただき、運営面の準備は学校が行います。ジーシーでもラテンアメリカの歯科医師向けに開設している会員サイト「Club GC.com」を通じて活動を報告。会場の外にジーシーの材料を展示し、実際に手にとることもでき、新しい技術や新製品情報を提供するアカデミックな場として学生たちに評価されています。今後も学校の教育スタッフ、学生、講師である地元医師との連携を深め、さらに円滑な活動にしていきます。



## 歯科診療援助活動

### [ヨーロッパ] 発展途上国での歯科診療援助活動に協力

GCヨーロッパは、オランダのACTA(Academic Center for Dentistry Amsterdam)やNijmegen大学を中心とした発展途上国での歯科診療援助活動に協力しています。活動地域はケニア、タンザニア、ニカラグア、カメルーン等アフリカ諸国を中心に12カ国にわたっています。また、ACTAを通じて、発展途上国での診療援助活動に支援を希望するアメリカなどの医師向けに、材料を提供しています。

### [ニカラグア] 歯科治療環境の整備

2011年5月、GCアメリカの社員がアメリカコロラド州のSteve医師とともに、歯科治療のためニカラグアを訪問しました。現地の歯科医師、PIETと呼ばれる地元ボランティアの協力を得て無料で歯科治療を実施し、ジーシーからはARTテクニック\*に活用できる充填用グラスアイオノマーフジXを現地に寄贈しました。今後は歯科への関心が低いラテンアメリカの多くの国々で、一般の人々に対して口腔内衛生の重要性を教育していくたいと考えています。

\* ART(Atraumatic Restorative Treatment)テクニック:WHO(世界保健機関)が開発途上国の初期う蝕治療のために開発したテクニック。グラスアイオノマーセメントの接着性とフッ素による2次う蝕抑制効果に期待した手法。



### 「フジX」がドイツの健康保険適用に

ジーシーは、MI(Minimum Intervention)コンセプトにもとづいた製品開発を行っています。歯齦刺激が少ないグラスアイオノマーセメント「フジX」は、歯質の削除量を削減し、小さな形成、小さな修復、少ないステップを実現させる、MIコンセプトに完璧に合致した歯冠修復材です。簡単な操作性もあいまって、発展途上国からさらに先進諸国に使用が拡大されてきました。2011年、ドイツでの活動が認められ、「フジX GP」と表面滑沢硬化材「G-コート」をセットにした「EQUIA(エクイア)」が健康保険に採用されました。

### [オーストラリア] 南太平洋の島々での支援活動

GCオーストラレシアでは、支援団体Medical Sailing Ministries(MSM)の活動を支援しています。この団体は、南太平洋上の大小83の島から成り立つバヌアツ共和国を活動拠点に、医療従事者と医療用具や製品を島から島へ運搬し、歯科診療、教育活動を行っています。ジーシーからはフジX ARTと診療器具を無償提供するとともに、ARTテクニックを用いた診療、現地での診療者の育成、継続的な現地活動のための教育などに貢献しています。

### [アジア] さまざまな取り組み

GCアジアは、歯科診療の支援活動に必要となる材料の提供をさまざまな地域で行っています。ベトナムでは、“EMWDental Program”として、世界中の歯科医師、歯科衛生士、学生などが数千人の子どもたちにボランティアで歯科治療を行っています。またカンボジアでは、NGO団体による“Cambodia Tooth Angel Project”として、孤児院の子どもたちに歯科治療や健康と口腔衛生についての教育を行っています。さらに、アフリカでも“Six-Year-Molar Focus oral health project”として、ARTテクニックを用いた診療や予防に関する教育を広めています。



### 国連環境計画(UNEP)の水銀規制条約

ジーシーは、1999年にアマルガム合金、デンタルマーキュリーの販売を自主的に中止し、代替製品への切り替えを積極的に行ってきました。そして現在国連環境計画は、2013年の水銀規制条約に基づき、生産・販売・流通・輸出の原則禁止などを検討しています。FDI(国際歯科連盟)は、すでにUNEPと協力して活動することを発表しており、ジーシーの所属する国際歯科製造者連盟(IDM)も、会員企業にアマルガム代替材料の開発を提言しています。ジーシーも引き続き、世界の歯科業界の動向に対し機敏な対応をしていきます。

## GCヨーロッパの地域貢献活動

### ルーベン大学に中尾敏男講座を開講

1998年7月9日、ルーベン・カトリック大学歯学部保存修復・歯科材料科にToshio Nakao Chair(中尾敏男講座)が発足しました。このチェアの名称は、弊社最高顧問・中尾眞の父の名前にちなんでつけられたもので、接着メカニズムの理解をより深める目的であらゆるタイプの歯科材料の基礎研究を行うことに同大学とジーシーが合意したのが始まりでした。

このToshio Nakao Chairの研究支援によって、歯科の接着分野では世界トップクラスの研究が行われており、さらに世界各国の研究者が同大学に留学してきたことにより、非常に多くの研究の成果が上がりました。ルーベン・カトリック大学は、2015年分野別世界大学ランキングにおいて世界第5位と国際的に高い評価を受けました。日本からもすでに10名以上の歯科医師の方々が留学して実績を上げられ、日本の接着歯学の研究をリードしています。

このようにジーシーは、歯科の接着分野において国際的に評価を得ているルーベン・カトリック大学歯学部と長年にわたり緊密な関係を築いており、この科学的協力関係が今後も末永く続くことを期待しています。



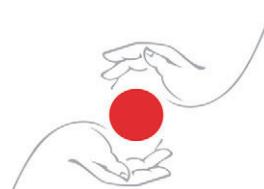
### GCヨーロッパキャンパスで歯科従事者に研修を提供

GC ヨーロッパは、最先端の研修設備であるGC ヨーロッパキャンパスをベルギー本社、イタリア、スペイン、イスラエル、そして2016年1月現在ではフランスに設置しており、これらのキャンパスにおいて歯科従事者に総合研修コースその他の研修を提供しています。これらの実地研修の他にもインターネットを通じたウェビナーも随時企画し、さまざまな媒体やニュースレターで定期的に教育コンテンツも発信しています。



### 東日本大震災からの“日本復興”も支援しています

そのほかGCヨーロッパは、2011年の東日本大震災からの復興を支援する日本赤十字社と協力したチャリティー活動、2015年に発生したバルカン地方の洪水に対するチャリティー活動“ヘルプ・ザ・バルカン”、地域の文化的取り組みをサポートするM美術館でのメセナ活動などを推進。ヨーロッパにとどまらず、世界各地で社会に貢献する活動を続けています。



# 多様な人材の活用と育成

ジーシーは「社員の力こそが企業の源泉」という創業の精神を受け継ぎ、  
社員を「なかま」と呼んでステークホルダーの重要な一員と位置づけています。  
失敗を恐れずチャレンジでき、お互いに敬愛の心を持ち、  
個々の能力を発揮して前向きな考え方を実践できる社内環境を整備・構築しています。

## 女性の登用と活躍できる風土の醸成

ジーシーでは近年、多くの女性社員を採用しており、事務部門だけでなく、研究開発、営業などさまざまな領域でめざましい活躍をしています。組織をリードしていく女性社員も増え、それがさらにロールモデルや会社への刺激となり、女性が活躍できる風土を醸成しています。ジーシーでは現在、強力にグローバル化を推進しており、留学生の積極的採用など、男女問わず広く海外で活躍できる人材を採用・育成しています。今後は、国内にとどまらず世界を舞台に女性が活躍し、世界中の人々の健康の維持・向上に直接貢献できる機会も増えていきます。

## 障がい者の雇用

ジーシーは障がい者雇用を進めるにあたり、障がいの特性に配慮した適切な雇用の場の確保を重要視しています。業務は、技工関連、品質保証、営業事務、施設管理や営繕など多岐にわたり、障がいのある「なかま」も、得意とする技術を武器に、個々の経験や知識を積み重ねています。今後も業務範囲をさらに広げ、障がい者雇用を促進していきます。

## 全社一丸となったVision経営の推進

Vision 2031のキックオフを機に、会社のVisionと個人のVision/Missionがリンクするように、2022年5月経営研究会にて部課長全員がペアワークを行いMyVision/My-Missionを作成しました。経営研究会での研修を各部署展開しなかま一人ひとりがVison 2031とリンクしたMyVision/MyMissionを作成いたしました。これまでには各国毎にVisionカードを作って配布していましたが、今後は「全世界共通フォーマットにしよう」「できればIT化を図ろう」と各国の人事担当者が協議しながら新たなVisionカード作成に向けて検討しています。



## キャリア形成支援

ジーシーでは、仕事を通じて必要な知識を覚えていく「OJT」(On the Job Training)以外に「Off-JT」としてさまざまな教育制度や研修体制を設けています。また、刻々と変化するニーズに応えるため、「歯科医療のプロ」を育てる独自の教育システムを構築。「社内デンタルカレッジ」の中で、社内資格の「DR(Dental Representative:歯科医療情報担当)」を取得できるプログラムを用意し、製品の正しい情報、効能やリスクを歯科医師の先生方に提供できる体制を整えています。

### [ 体系的な教育「Off-JT」 ]

デンタルカレッジやテクノセンターでは、歯科材料製品や歯科機械に関する高度な専門知識を体系的な教育の中で習得し、成長していくことができます。専門知識以外にも、新入社員から役員に至るまで、階層別、部門別の教育を隨時実施。「なかま」全員が教育の機会を与えられ、幅広くスキルを磨いています。

### [ 能力向上と適材適所のための評価制度 ]

年2回、上司との個人面談にて、評価内容のすり合わせを行い、それをもとに目標を設定。成長度合いを自己申告することによって目標を明確にし、必要な研修やセミナーへの参加を促しています。入社3年目以降に他部署への異動を希望できるフリーエージェント制や、海外赴任も希望可能です。

### [ 社内デンタルカレッジの実施 ]

医科のMRと同様の活動を行うDRの社員を対象に、「社内デンタルカレッジ」およびe-ラーニングを実施しています。お客様への歯科器材の情報提供に必要な知識を習得し、質の高い営業活動ができるよう、以下を目的に教育を進めています。

#### 社内デンタルカレッジの目的

- 各分野の基礎的な臨床術式を身につけること。
- 実際の診療に近い実習、高度な技工の実習を行うことにより、ユーザーに近い知識を身につけること。
- 材料の特性、物性値の測定方法、化学式の読み方等を学習することによって、苦情対応力、開発部門に情報をフィードバックできる知識を身につけること。
- 歯科界トップクラスの臨床家から診療の実際を学習することによって、深い臨床知識を身につけること。

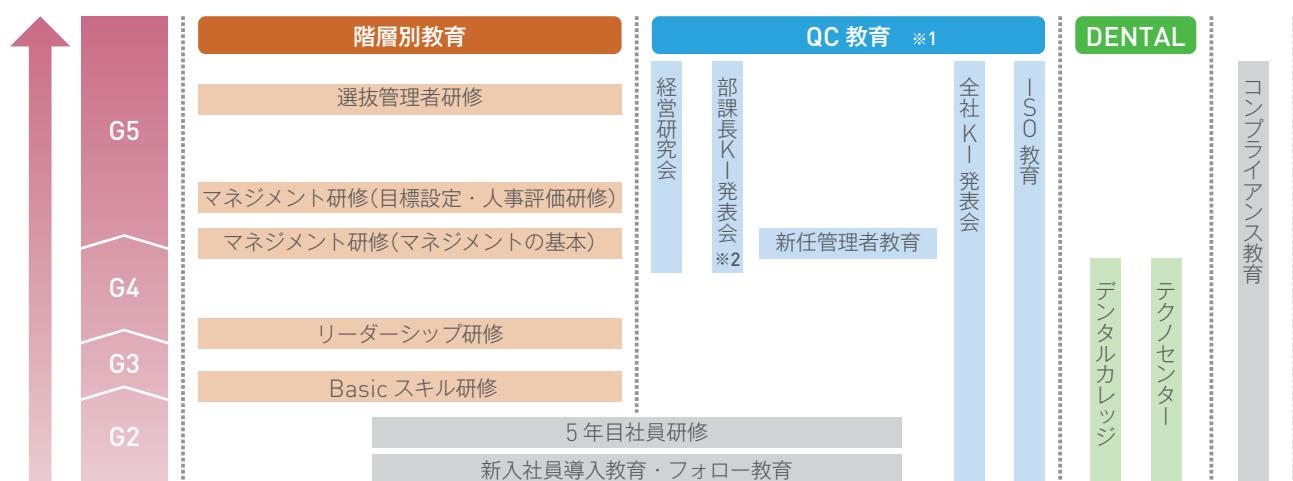
### [ 中尾塾の開催 ]

管理職クラス、係長クラスから選抜されたメンバーが集まり、最高顧問の中尾から、直接ジーシーのDNAについての話を聞きながら与えられた課題に答えてゆく集合教育です。

### [ 海外中尾塾の開催 ]

5年に一度海外グループ会社の幹部社員を集めて、最高顧問の中尾がジーシーの社是である“施無畏”や“なかま”意識について話します。約一週間の間に、グループディスカッションや工場見学、座禅体験などをしてもらい、日本の文化にふれながらジーシーの心を理解していきます。

## 社員教育(Off-JT)の体系



※1【QC 教育】 QC : Quality Control 品質管理教育      ※2【KI】 Kaizen Innovation 仕事の質向上活動=KI 活動

## 海外グループ企業の活動

### [GCアメリカ] 退職予定の従業員を再就職研修制度で支援

スキル・マネジメントや生涯学習のプログラムにより、従業員の継続雇用と雇用終了計画を支援しています。従業員に対する授業料の返済制度があり、退職予定の従業員については再就職研修制度で支援します。現地採用の取り組みも進んでおり、経営陣の半数が地元採用者です。

### [GCコリア] なりたい自分発表会の実施

人材育成方針 OJT 中心に「なりたい自分発表会」を通じて「なかま」を育むことが、GCコリアの人材育成方針です。2015年度は外部教育プログラムに参加しており、B-conマネジメント教育には4名が参加しました。

### [GCヨーロッパ] 「なかま」の潜在力をひきだす多様な研修

GCヨーロッパは、幅広い背景を持った人たちが、互いに学び合うことで潜在力を最大限に発揮できる労働環境と機会の創出のため、以下のような多彩な研修制度を用意しています。

- GCアカデミー研修
- 管理職研修
- ストレス研修
- EFQM研修
- 研修のフォローアップを受ける機会の付与

また、雇用斡旋機関であるEntirisから毎年平均15名を雇用、再雇用プロジェクトJob-Linkの実施など、地域の雇用の安定に貢献しています。

# 働きやすい職場づくり

ジーシーでは、経営管理手法の中核を担うGQM活動(19ページ参照)の3本柱の一つに「社員満足の向上」を掲げています。社員満足の向上を図る一つの手段として「働きがいのある職場づくり」を行っており、さまざまな人材が安心して働き活躍できる環境を整えています。

## 社員満足度調査の実施

2022年度の社員満足度調査の結果においては、報酬への満足度や、20代の成績評価・昇格に対する満足度が向上しており、2021年度より導入した新人事制度の効果が表れていますことを確認しました。一方で、人事制度は成果主義に舵を切ったことで「成績評価」「昇進・昇格」について、社員の理解がまだ充分に得られていないことが判りました。会社として「人事制度に対する理解を高める取り組み」や「制度のブラッシュアップ」を行い、「社員の皆さんのが夢を持てる人事制度」にしていかなければと考えています。30年続けた社員満足度調査ですが今年でその役割を終えました。それは「社員が不満を改善すれば会社がよくなるわけではない。社員に会社を好きになってもらうことで社員・会社双方のWin-Winの関係を構築する。」というエンゲージメントの考え方があるからです。そこで我が社では世界的に著名なギャラップ社に依頼し「なかまエンゲージメント調査」を、9月より新たに全世界で開始いたしました。この調査は社員が「会社や職場が好きか?」を知るためにもので、世界のジーシー各社毎に結果が出てきます。その調査結果を用いて「社員と会社が価値観やビジョンを共有して、より会社が好きになってもらう」ために世界共通あるいは各国ごとに様々な施策を考え実施していきます。社員の皆さんに会社をより好きになってもらい、一層活躍いただくことで業績が上がり、その成果を会社と社員で分かち合う、そんなサイクルを目指しています。

## 「なかま」の安全と健康

安全であることは、職場環境の必須条件です。ジーシーの本郷(GC Corporate Center)と板橋(GC R&Dセンター)では、会社側と組合から委員を選出し、月1回安全衛生委員会を開催して、課題を話し合っています。安全衛生週間と労働安全週間には、職場巡回を実施して職場の安全と衛生維持に努めています。また健康については、40歳以上の社員には5年ごとの人間ドックの受診を勧めており、通常の年1回の健康診断(35歳以上は生活習慣病健診)の結果にもとづいて、要2次検査者のフォローも100%をめざしています。今後は生活習慣病予防のア

ドバイスなどを展開し、要2次検査者ゼロをめざします。



職場巡回による点検の様子

## メンタルヘルスケアの充実

ジーシーでは外部機関と提携し、面談や電話での相談を無料で提供しています。本人だけでなく家族も利用でき、さまざまな相談がなされています。近年はストレスを感じて健康を損なう社員も出てきているので、今後はより充実したサービスを提供し、メンタルヘルスケアの充実を図っていきます。また、社会に出て間もない新入社員や若手社員へのメンタルサポートとして、人事部の担当者がインタビューを行い不安や疑問を取り除くようにしています。年2回の上司との個人面談の結果で気になる社員がいれば、人事部から再度面談を実施し、不安を軽減するようにしています。海外のグループ企業もメンタルヘルスケアに積極的に取り組んでいます。GCヨーロッパでは、安全で健康的かつ生産的な職場環境の維持のために、IDEWEによる健康診断や健康サポート、ワークグループ・ストレスやその他精神的・社会的ケア、CPBW会議、OHSAS、5S、火災保険監査などの実施、事前リスクの分析・評価などを推進しています。

## 仕事と育児・介護の両立支援

ジーシーでは、介護・育児へのケアなど、休職中・復職後も安心して働ける環境を整えています。ジーシーの育児休暇制度は子どもが2歳になるまで取得でき、法で定める期間よりも長く育児に専念することができます。また、育児期間中は国からの補助に加え、会社からも支援金を支給する独自の支援を行っています。これらの制度やフレックスタイム制度を利用して、育児および介護と仕事を両立する「なかま」も年々増加しています。育児休暇制度は海外でもすっかり定着しており、GCアメリカでは従業員全員が育児休暇後に復帰しています。GCコリアでは、育児休暇後の復帰・定着率は100%です。ジーシーは、今後は多様化する育児や介護のスタイルに合わせた両立支援を進め、「なかま」のワークライフバランスのさらなる充実に取り組んでいきます。

## 福利厚生制度

すべての「なかま」が健康でゆとりのある生活を送ることができます。また、さまざまな福利厚生制度を導入しています。また、2007年に制度全体をデータベース化し、制度や施設の周知と利用促進を図っています。

### [リフレッシュ休暇制度]

勤続年数10年ごとに休暇を取得する制度で、企業品質の向上やゆとりの創造、個人と職場の活性化につながっています。1991年の導入以来、2022年度までに70.1%の「なかま」が取得しています。

### [中尾勤労報奨金制度]

会社の利益配分の一部を株主だけでなく「なかま」にも支給するもので、創業者である中尾清前会長の思想を受け継ぎ1946年から続く制度です。役員を除く「なかま」に対して、賞与とは別に毎年2月に支給しています。

### [褒称制度]

「なかま」の働く意欲と情熱を称え、感謝の気持ちを表すために1995年にスタートしました。あえて「褒称」とし、さまざまな職種、できるだけ多くの「なかま」が該当するように14種類の賞を設けています。毎月の朝・昼礼会では、顧客担当アソシエイト賞、努力賞を表彰しています。また、特に顕著な業績を残した「なかま」に対しては、毎年2月の創業記念式典で、功績賞、発明特許賞等を授与。2022年度は53件、250名の個人・グループに賞状と記念品を贈呈しました。

### [カフェテリアプラン]

複数の福利厚生メニューから、自分のニーズに合わせて必要なメニューを選択して利用する制度です。保険、貯蓄、住宅、自己啓発、ワークライフバランス、保養所など45種類のメニュー(2022年度)から、各自の持ち点の範囲内で組み合わせて利用。近年は、自己研鑽や啓発メニューの充実を図り、「なかま」の自立意識の確立に役立てています。

### [GCアメリカ—確定拠出型退職金制度]

GCアメリカでは、確定給付型年金制度を設けていませんが、確定拠出型退職金制度は継続しています。将来的な責任に関しては、第三機関の保険数理士グループによる評価が毎年実施され、財務報告書に記載しています。

## 労使関係

ジーシーでは、戦後いち早く労働組合に代わる「社内業務委員会」が設立され、1955年には「而至化学労働組合」が結成されました。上部団体を持たない単一組合となり、設立当初から現在まで良好な関係が保たれています。

団体交渉は春の賃上げ、夏・冬の賞与と主に3度行っており、「なかま」との対話を重視しています。また、労使共同で解決すべき課題があるときは、別途労使協議会を開催し速やかな解決をめざしています。毎年夏には労使共催でお祭も開催し、組合員・非組合員を問わず親睦を深めています。



## VOICE

家族でハワイを満喫した  
リフレッシュ休暇。

研究所  
加藤 克人

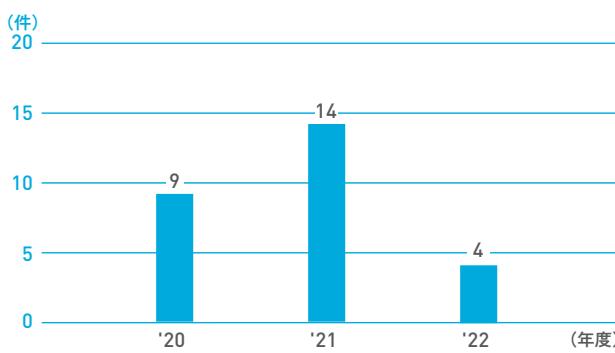


勤続10年のリフレッシュ休暇は家族でハワイ旅行に行きました。私は単身赴任をしていて、普段はなかなか家族とゆっくりするのが難しいのですが、リフレッシュ休暇中は家族そろって楽しい時間をたっぷりと過ごすことができました。ハワイの海ではウミガメと一緒に泳ぐこともでき、家族の貴重な思い出となりました。日常と離れた環境で息子と思いつきり一緒に遊び、彼の成長を感じることもできました。勤続10年の節目の年に、まとまった時間を仕事から離れて過ごすことで、自分自身を客観的に見直す貴重な経験となりました。

## 従業員の傷害状況

GCアメリカでは、OSHA(米国国際安全衛生センター)に基づき労働安全衛生を推進し、労働災害の発生件数や種類などをデータベース化しています。

### OSHAに基づく労働災害発生件数



### 労働災害の種類

労働災害の種類	2020年度	2021年度	2022年度
化学物質との接触		1	1
危険物との接触	1	1	4
巻き込まれ			
手作業		1	3
ニアミス			29*
無理な動作	2	1	1
人によるもの			1
フォークリフト事故	3	1	2
反復動作		4	7
滑り/躊躇/転落	2	1	5
設備が激突	1	1	1
設備に激突		3	
合計(件)	9	14	54

\*2022年度より報告基準を変更いたしました。

## 人権保護の取り組み

ジーシーグループは、人権の保護にグローバルに取り組んでいます。特に、多民族社会のアメリカでは人権への取り組みを重視しており、GCアメリカでは管理職全員に順守事項の研修を実施しています。差別的な出来事はこれまで確認されず、先住民の権利侵害に関する苦情を受けた事例もありません。

児童労働や強制労働に対するチェック体制も構築しており、採用希望者は年齢および米国内での就労資格を記載した書類の提出が必須となっています。また、採用にあたっては、連邦政府を介した身元照会を行い、児童労働や強制労働、人権に関するリスクに対処しています。



ジーシーグループのCSR活動や、本報告書をご覧になってのご意見、ご感想を、  
下記メールアドレスまで是非お寄せ下さい。今後の活動の参考とさせていただきます。

---

 [gccsr@mls.gcdental.co.jp](mailto:gccsr@mls.gcdental.co.jp)

株式会社ジーシー CSR報告書担当まで

,' 'GC,' '

<http://www.gc.dental/Japan/>

株式会社ジーシー

〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-14 TEL:03-3815-1815 発行:2022年12月